

. 調査結果の分析

1.暮らしやイメージ、地域活動

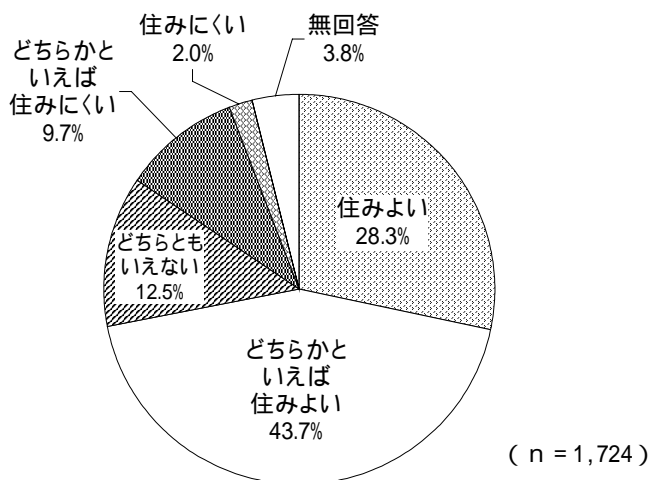
1-1.住みよさの全体評価

「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせると7割を超えている

| | | | | |
|--|-------|-----------------|-----|--|
| 問1 あなたは、今住んでいる入間市を住みよい所であると思いますか。それとも住みにくい所であると思いますか。次の中から <u>1つ</u> 選んでください。(n=1,724) | | | | |
| 1.住みよい | 28.3% | 4.どちらかといえば住みにくい | 9.7 | |
| 2.どちらかといえば住みよい | 43.7 | 5.住みにくい | 2.0 | |
| 3.どちらともいえない | 12.5 | (無回答) | 3.8 | |

入間市の住みよさの評価を聞いたところ、「住みよい」(28.3%)が3割近く、「どちらかといえば住みよい」(43.7%)が4割を超え、この2つを合わせた『住みよい(計)』(72.0%)は7割を超えている。「どちらかといえば住みにくい」(9.7%)と「住みにくい」(2.0%)の2つを合わせた『住みにくい(計)』(11.7%)は1割を超える程度である。(図1-1-1)

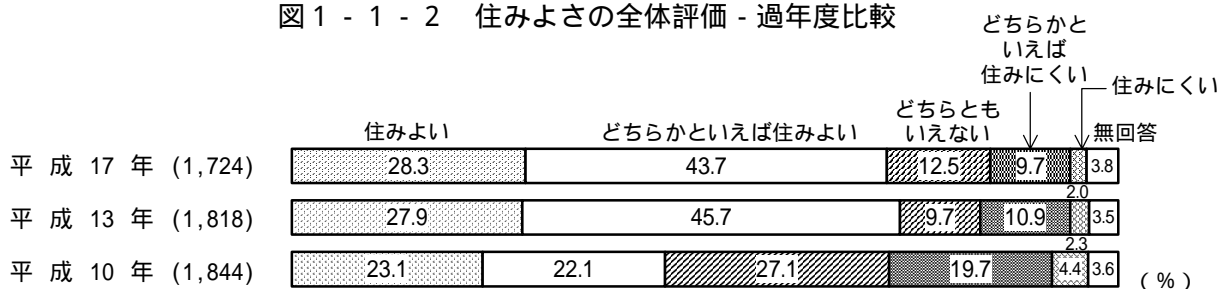
図1-1-1 住みよさの全体評価



【過年度比較】

過去2回の「入間市市民意識調査」の結果と比較すると、『住みよい(計)』は前回調査から1ポイント減少しているが、ほぼ前回と同じ傾向にある。(図1-1-2)

図1-1-2 住みよさの全体評価 - 過年度比較



(注)平成10年の調査では、選択肢のうち、「どちらともいえない」が「ふつう」に、「どちらかといえば住みにくい」が「多少住みにくい」に、それぞれ変更されている。

属性分析（図 1 - 1 - 3）

【性別】

男女ともほぼ同じ傾向になっている。

【性・年齢別】

「住みよい」は女性 40 代を除いて、ほぼ年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にある。『住みよい（計）』は男女とも 70 歳以上で 8 割を超えて多くなっている。『住みにくい（計）』は女性 20 代から 40 代で 2 割近くを占めて多くなっている。

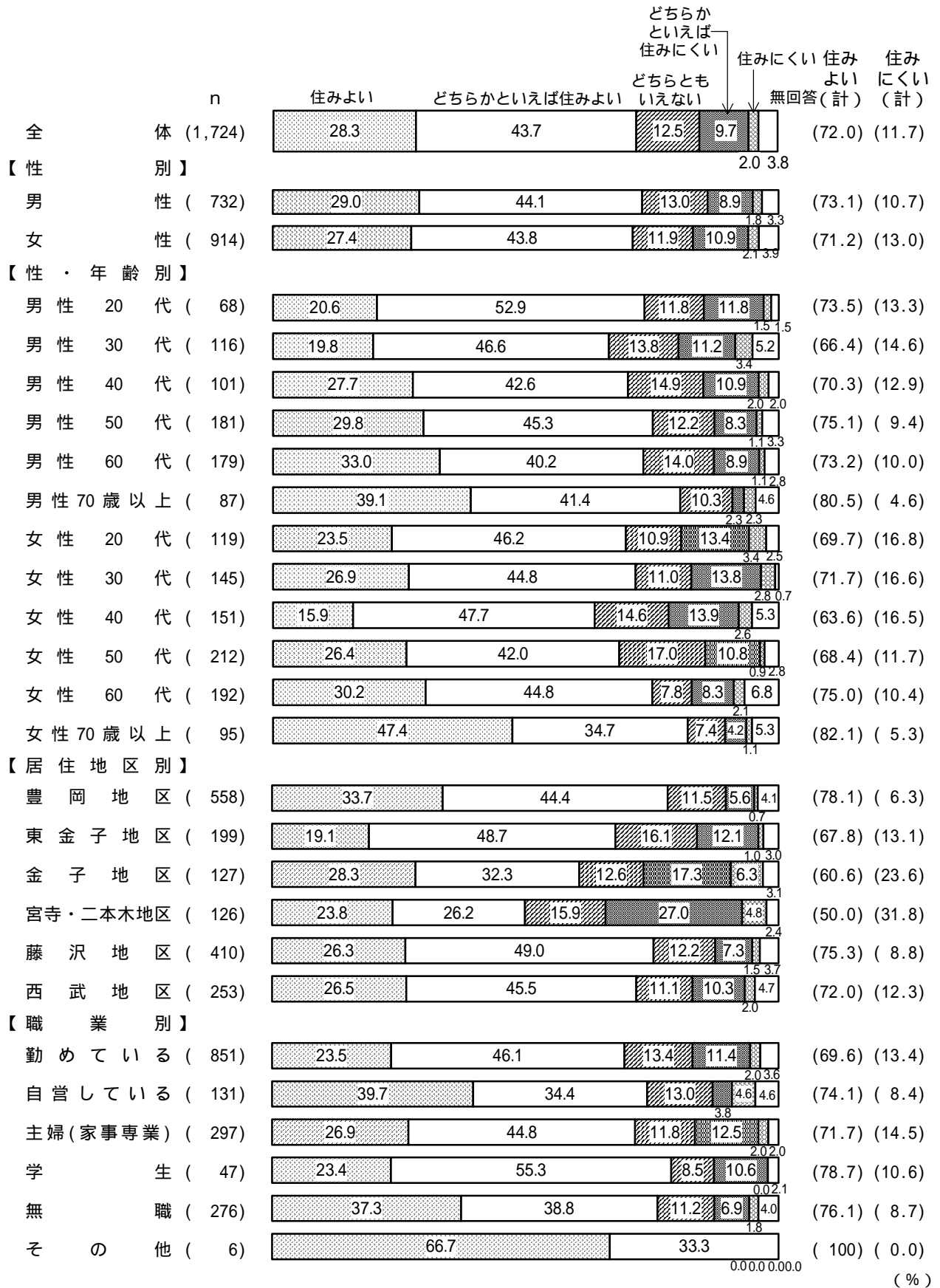
【居住地区別】

『住みよい（計）』は豊岡地区、藤沢地区、西武地区で 7 割から 8 割近くを占めている。逆に『住みにくい（計）』は宮寺・二本木地区（31.8%）で 3 割を超えて多く、金子地区（23.6%）でも 2 割を超えている。

【職業別】

「住みよい」は自営している（39.7%）と無職（37.3%）で 4 割近くを占めて多くなっているが、『住みよい（計）』ではどの職業でも 7 割から 8 割近くを占めている。

図1-1-3 住みよさの全体評価 - 属性別



(1) 住みよい理由

「住みなれているから」が4割、「買い物など毎日の生活に便利だから」が2割

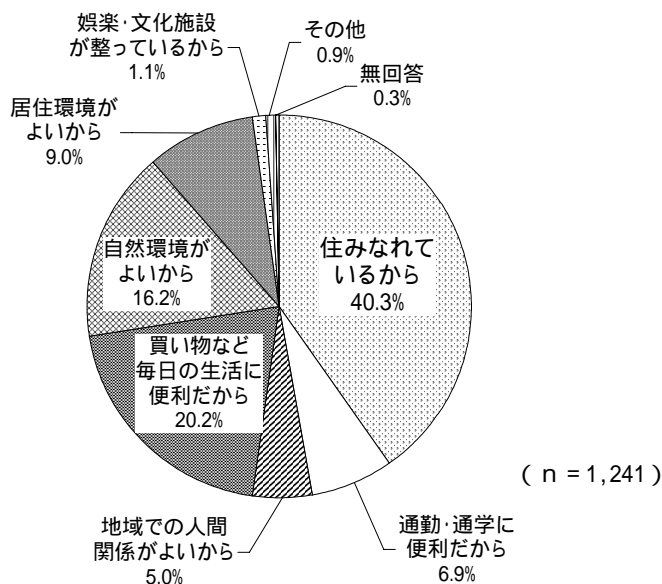
(問1で「1.住みよい」「2.どちらかといえば住みよい」と答えた方に)

問1-1 住みよいと思われる理由を1つ選んでください。(n=1,241)

| | | | |
|--------------------|-------|-------------------|------|
| 1.住みなれているから | 40.3% | 5.自然環境がよいから | 16.2 |
| 2.通勤・通学に便利だから | 6.9 | 6.居住環境がよいから | 9.0 |
| 3.地域での人間関係がよいから | 5.0 | 7.娯楽・文化施設が整っているから | 1.1 |
| 4.買い物など毎日の生活に便利だから | 20.2 | 8.その他 | 0.9 |
| | | (無回答) | 0.3 |

「住みよい」または「どちらかといえば住みよい」と答えた人(1,241人)に、その理由を聞いたところ、「住みなれているから」(40.3%)が4割で最も多く、次いで「買い物など毎日の生活に便利だから」(20.2%)、「自然環境がよいから」(16.2%)、「居住環境がよいから」(9.0%)などの順となっている。(図1-1-5)

図1-1-5 住みよい理由



属性分析(図1-1-6)

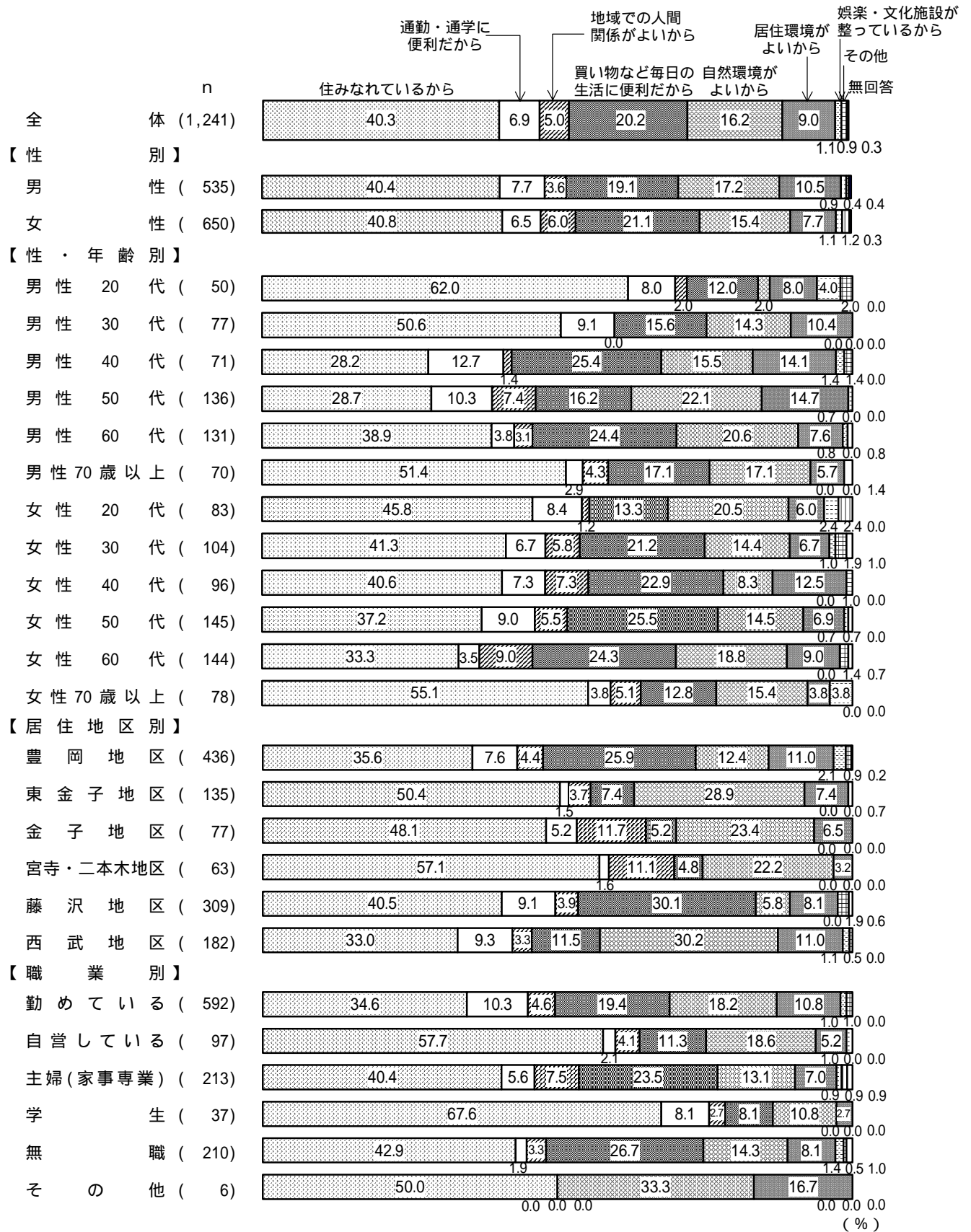
【性別】男女ともほぼ同じ傾向になっている。

【性・年齢別】「住みなれているから」は男性40代と女性60代で割合が低く、年代が離れるにつれて割合が高くなっている。「買い物など毎日の生活に便利だから」は男性40代・60代と女性50代・60代で高く、「自然環境がよいから」は男性50代で、「居住環境がよいから」は男性40代・50代でそれぞれ高くなっている。

【居住地区別】「住みなれているから」は宮寺・二本木地区、東金子地区で5割から6割近くを占めている。「買い物など毎日の生活に便利だから」は藤沢地区と豊岡地区で2割半ばから3割を占めて多く、「自然環境がよいから」が西武地区と東金子地区で3割前後を占めている。

【職業別】「住みなれているから」は学生（67.6%）と自営している（57.1%）で6割前後を占めて多くなっている。「買い物など毎日の生活に便利だから」は無職（26.7%）で3割近くを占めている。

図1-1-6 住みよい理由 - 属性別



属性分析 (図 1 - 1 - 7)

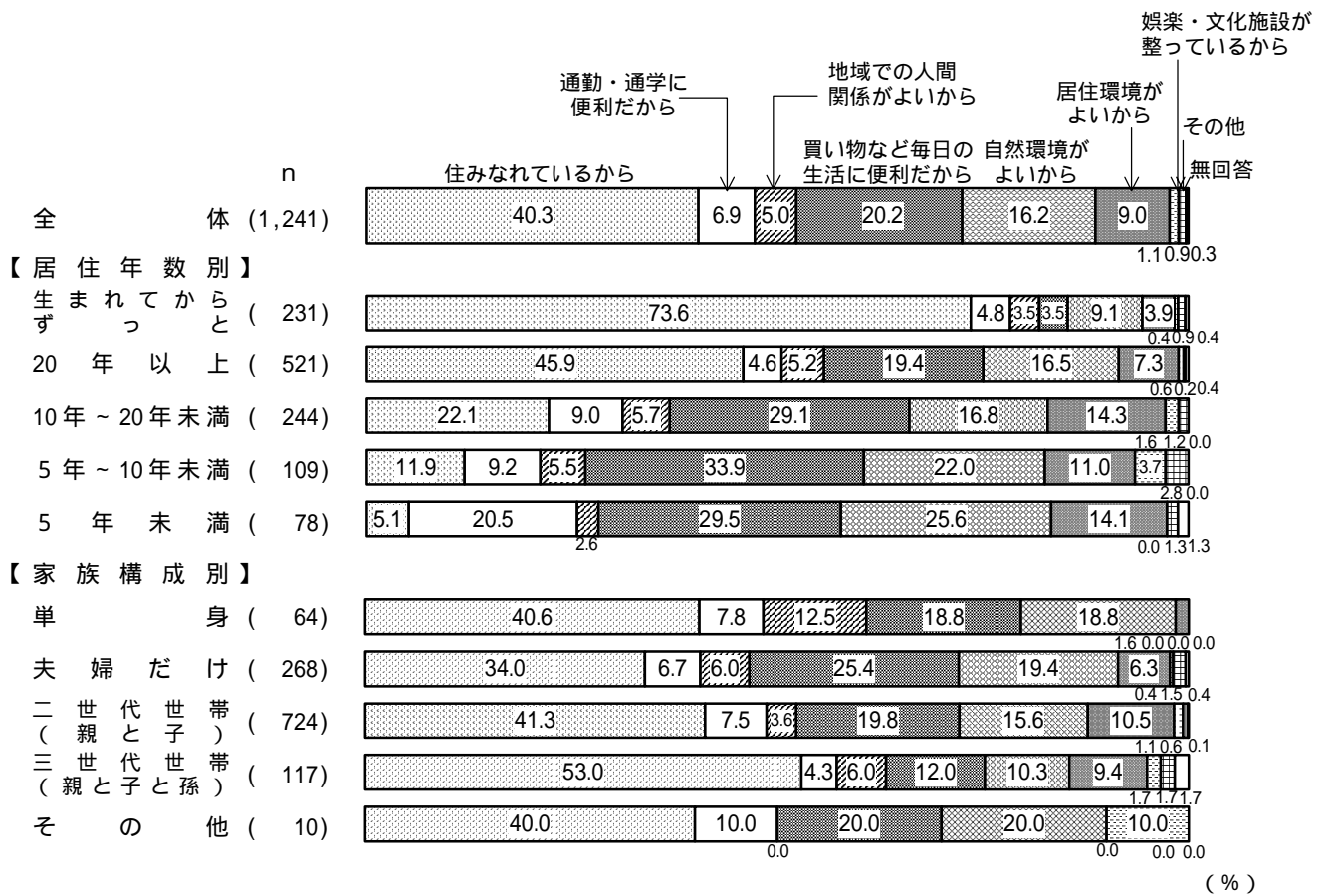
【居住年数別】

「住みなれているから」は居住年数が長くなるにつれて割合が高くなっており、生まれてからずっと住んでいる人 (73.6%) では7割を超えている。居住年数が短い人では、「買い物など毎日の生活に便利だから」、「自然環境がよいから」の割合が高くなっている。「通勤・通学に便利だから」は5年未満 (20.5%) で2割に達している。

【住居形態別】

「住みなれているから」は三世帯世帯 (53.0%) で5割を超えている。

図 1 - 1 - 7 住みよい理由 - 属性別



(2) 住みにくい理由

「通勤・通学に不便だから」が3割半ばで最も多い

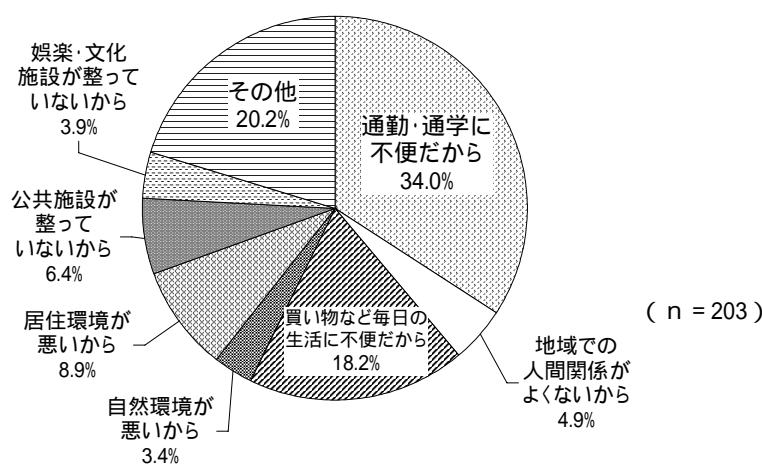
(問1で「4.どちらかといえば住みにくい」「5.住みにくい」と答えた方に)

問1-2 住みにくいと思われる理由を1つ選んでください。(n=203)

| | | | |
|---------------------|-------|---------------------|------|
| 1. 通勤・通学に不便だから | 34.0% | 4. 自然環境が悪いから | 3.4 |
| 2. 地域での人間関係がよくないから | 4.9 | 5. 居住環境が悪いから | 8.9 |
| 3. 買い物など毎日の生活に不便だから | 18.2 | 6. 公共施設が整っていないから | 6.4 |
| | | 7. 娯楽・文化施設が整っていないから | 3.9 |
| | | 8. その他 | 20.2 |

「どちらかといえば住みにくい」または「住みにくい」と答えた人(203人)に、その理由を聞いたところ、「通勤・通学に不便だから」(34.0%)が3割半ばで最も多く、次いで「買い物など毎日の生活に不便だから」(18.2%)、「居住環境が悪いから」(8.9%)、「公共施設が整っていないから」(6.4%)などの順となっている。(図1-1-8)

図1-1-8 住みにくい理由



属性分析(図1-1-9)

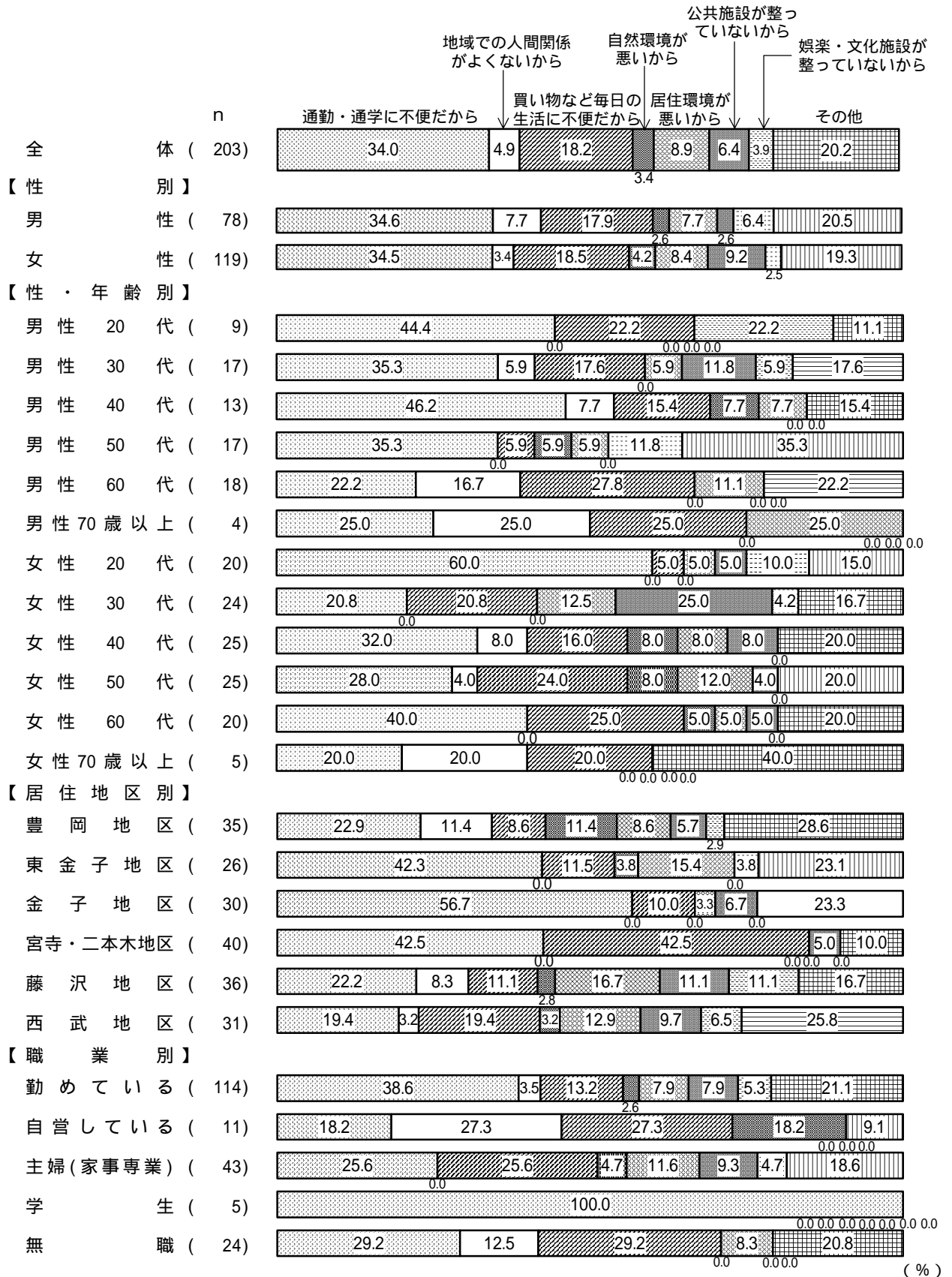
【性別】「公共施設が整っていないから」は女性の方が6ポイント高くなっている。

【性・年齢別】「通勤・通学に不便だから」は女性20代(60.0%)で6割を占めて多く高くなっている。「公共施設が整っていないから」は女性30代(25.0%)で2割半ばに達して多く高くなっている。

【居住地区別】「通勤・通学に不便だから」は金子地区(56.7%)で6割近くに達して多く、宮寺・二本木地区、東金子地区でも4割を超えている。「買い物など毎日の生活に便利だから」は宮寺・二本木地区(42.5%)で4割を超えて高くなっている。

【職業別】「通勤・通学に不便だから」は学生(100.0%)と勤めている(38.6%)で高くなっている。「買い物など毎日の生活に便利だから」は無職(29.2%)、自営している(27.3%)、主婦(25.6%)で3割近くを占めている。

図1-1-9 住みにくい理由 - 属性別



属性分析 (図 1 - 1 - 10)

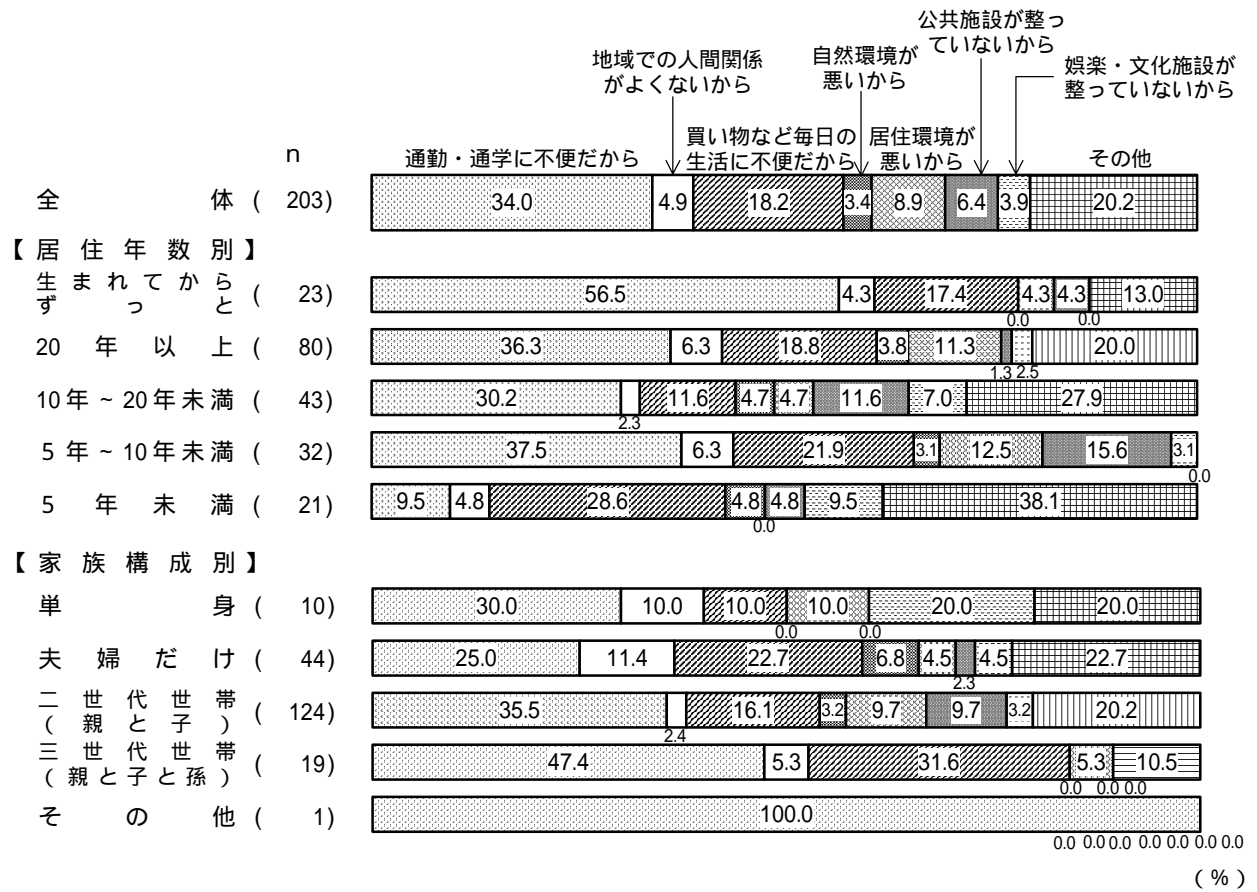
【居住年数別】

「通勤・通学に不便だから」は生まれてからずっと (56.5%) で5割半ばを占めて多くなっている。「買い物など毎日の生活に不便だから」は5年未満 (28.6%) で3割近くに達して多くなっている。

【住居形態別】

「買い物など毎日の生活に不便だから」は三世帯世帯 (31.6%) で3割を超えている。

図 1 - 1 - 10 住みにくい理由 - 属性別



1 - 2 . 入間市に対する誇りや愛着

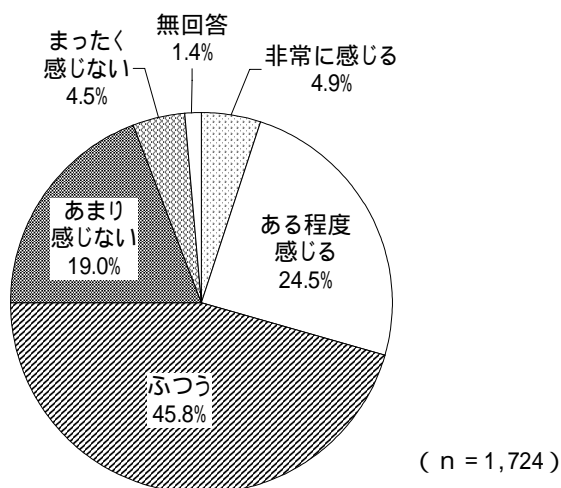
『感じる』はほぼ3割、『感じない』は2割を超える

問2 あなたは、入間市に何か誇りとか、愛着のようなものを感じますか。次の中から1つを選んでください。 (n=1,724)

1 . 非常に感じる 4.9% 3 . ふつう 45.8 5 . まったく感じない 4.5
2 . ある程度感じる 24.5 4 . あまり感じない 19.0 (無回答) 1.4

入間市に何か誇りや愛着のようなものを感じるか聞いたところ、「非常に感じる」(4.9%)と「ある程度感じる」(24.5%)を合わせた『感じる(計)』(29.4%)はほぼ3割である。一方、「あまり感じない」(19.0%)と「まったく感じない」(4.5%)を合わせた『感じない(計)』(23.5%)は2割を超える程度で、『感じる(計)』の方が『感じない(計)』をやや上回っている。「ふつう」(45.8%)は4割半ばである。(図1-2-1)

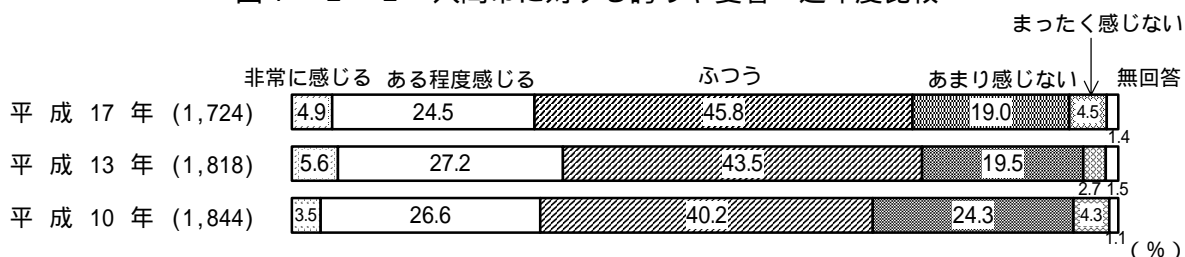
図1-2-1 入間市に対する誇りや愛着



【過年度比較】

『感じる(計)』は前回調査から3.4ポイント減少している。(図1-2-2)

図1-2-2 入間市に対する誇りや愛着 - 過年度比較



属性分析（図 1 - 2 - 3）

【性別】

男女ともほぼ同じ傾向になっている。

【性・年齢別】

『感じる（計）』は男性 20 代（38.3%）で 4 割近くを占めて多くなっている。『感じない（計）』は女性 40 代（33.8%）で 3 割を超えて多くなっている。また、男性 30 代から 50 代までと女性 40 代では、『感じない（計）』が『感じる（計）』を上回っている。

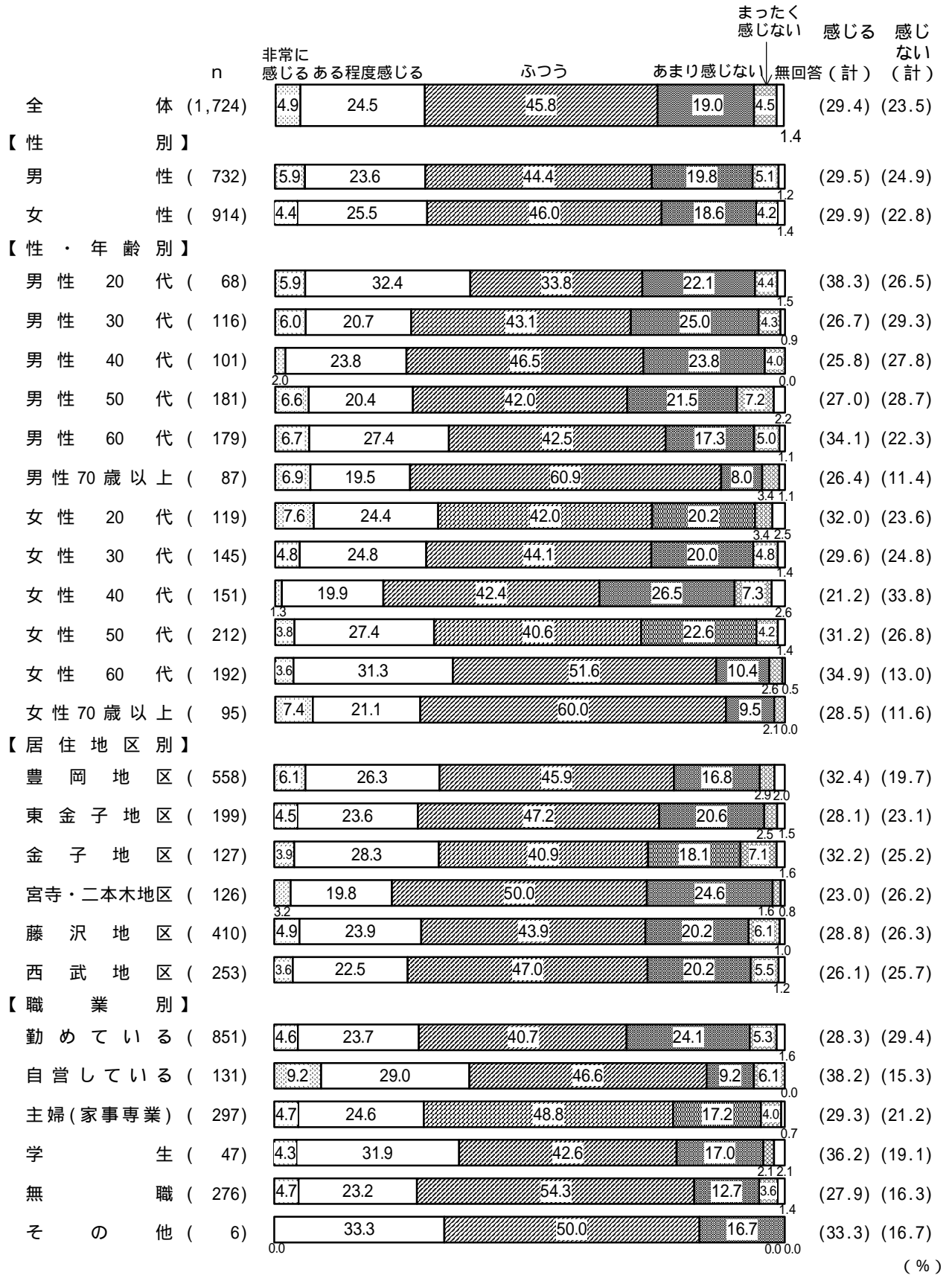
【居住地区別】

『感じる（計）』は豊岡地区と金子地区で 3 割を超えている。一方、宮寺・二本木地区では、『感じない（計）』が『感じる（計）』を上回っている。

【職業別】

『感じる（計）』は自営している（38.2%）と学生（36.2%）で 4 割近くを占めて多くなっている。一方、勤めている人では、『感じない（計）』が『感じる（計）』を上回っている。

図1 - 2 - 3 人間市に対する誇りや愛着 - 属性別



属性分析（図1 - 2 - 4）

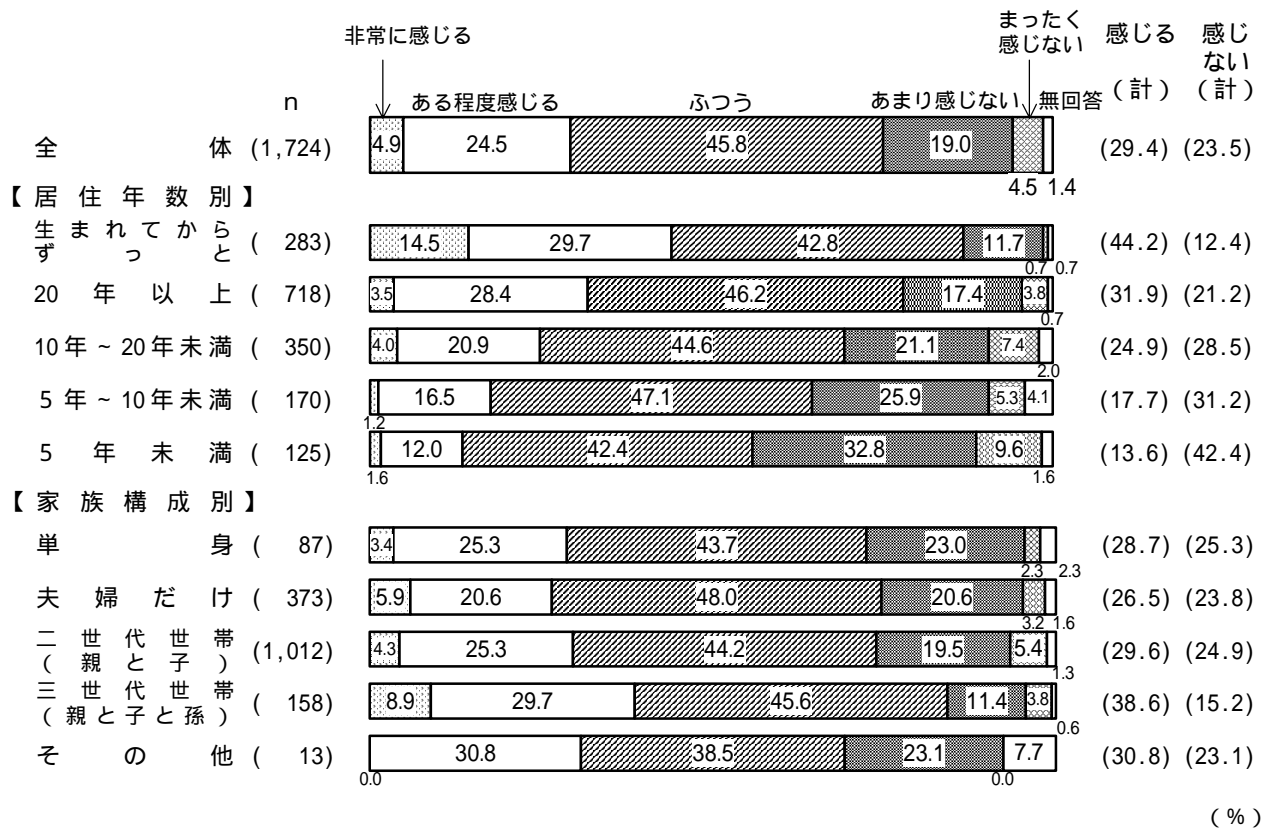
【居住年数別】

『感じる（計）』は居住年数が長くなるほど割合が高くなっており、生まれてからずっと（44.2%）で4割半ばを占めて多くになっている。

【住居形態別】

『感じる（計）』は三世帯世帯（38.6%）で4割近くを占めている。

図1 - 2 - 4 人間市に対する誇りや愛着 - 属性別



(%)

1 - 3 . 定住意識

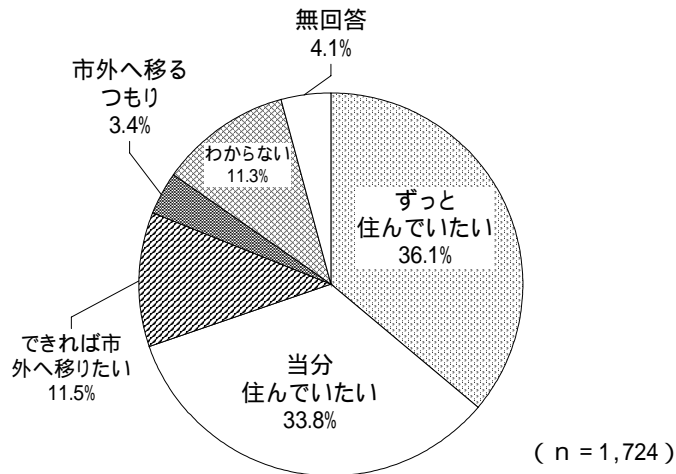
定住意向は7割、転出意向は1割半ば

問3 あなたは、これからもずっと入間市に住んでいたいと思いますか。それともよそに移りたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。 (n=1,724)

| | | | |
|----------------|-------|-------------|------|
| 1. ずっと住んでいたい | 36.1% | 4. 市外へ移るつもり | 3.4 |
| 2. 当分住んでいたい | 33.8 | 5. わからない | 11.3 |
| 3. できれば市外へ移りたい | 11.5 | (無回答) | 4.1 |

定住意識を聞いたところ、「ずっと住んでいたい」(36.1%)が3割半ばで最も多く、これに「当分住んでいたい」(33.8%)を合わせた『定住意向(計)』(69.9%)は7割に達している。「できれば市外に移りたい」(11.5%)と「市外へ移るつもり」(3.4%)を合わせた『転出意向(計)』(14.9%)は1割半ばである。(図1-3-1)

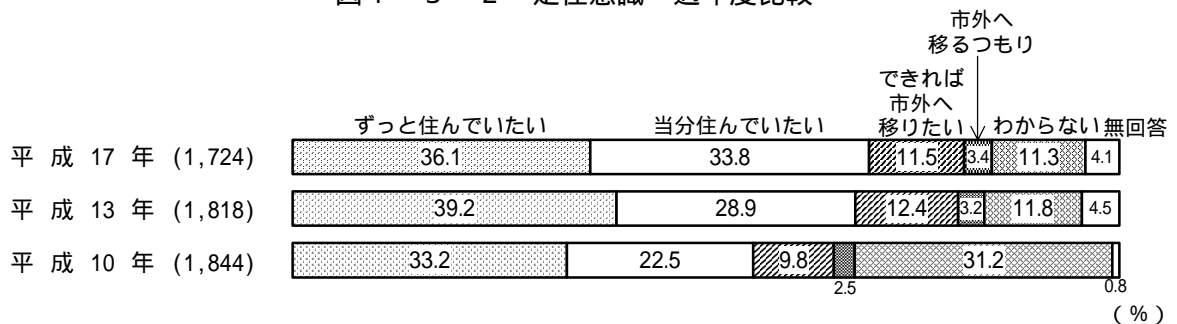
図1-3-1 定住意識



【過年度比較】

『定住意向(計)』は前回調査から1.8ポイント増加している。(図1-3-2)

図1-3-2 定住意識 - 過年度比較



(注)平成10年の調査では、選択肢のうち「できれば市外へ移りたい」が「できれば移りたい」に、「市外へ移るつもり」が「移りたい」に、「わからない」が「どちらともいえない」に、それぞれ変更されている。

属性分析（図 1 - 3 - 3）

【性別】

『定住意向（計）』は男性が女性より4ポイント高くなっている。

【性・年齢別】

『定住意向（計）』はおおむね年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、特に男性の50代以上と女性の60歳以上の年代で8割前後を占めている。『感じない（計）』は女性20代（37.0%）で4割近くに達して多く、男性20代（29.4%）でもほぼ3割になっている。

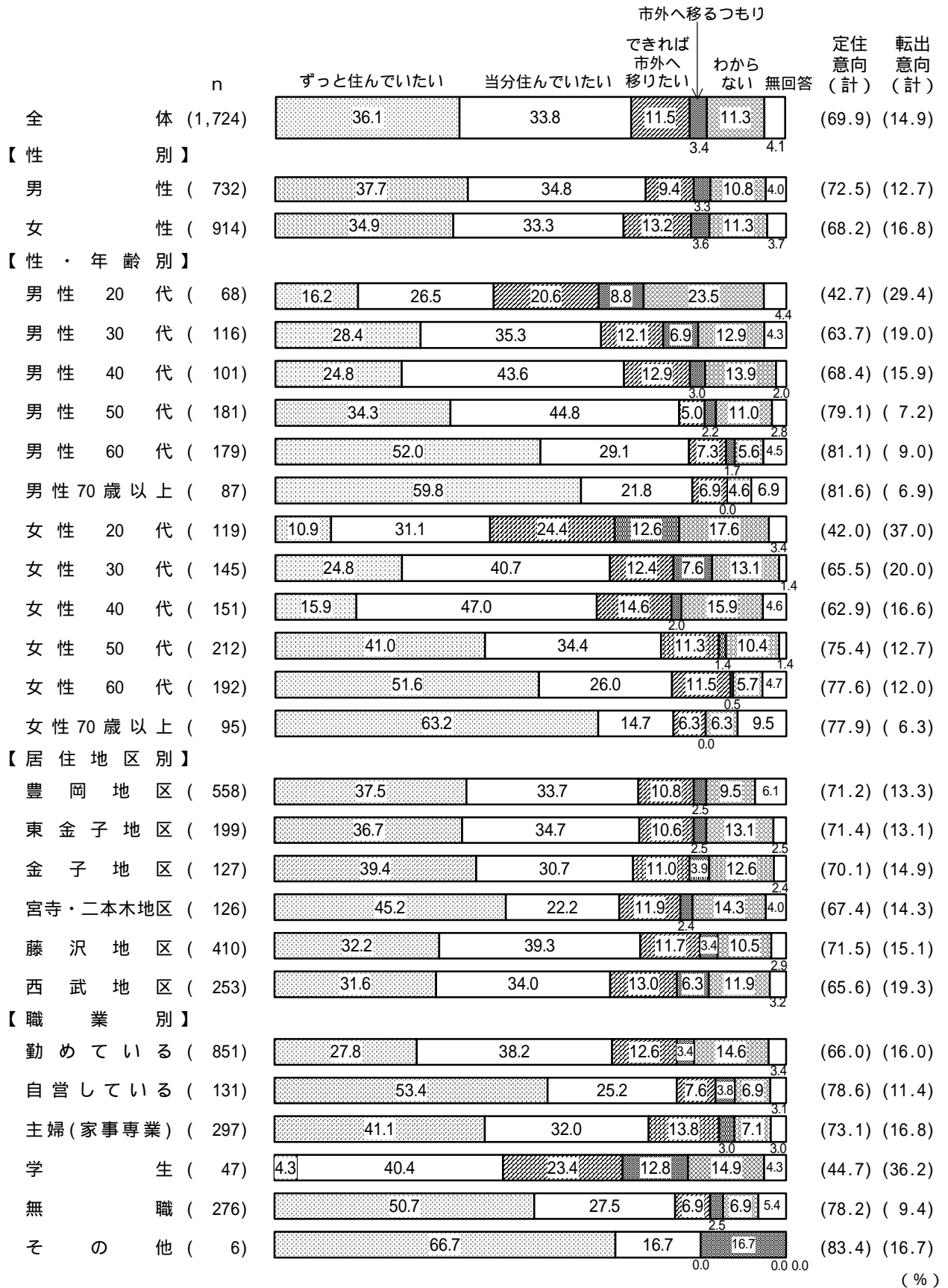
【居住地区別】

「ずっと住んでいたい」は宮寺・二本木地区（45.2%）で4割半ばに達して多くなっているが、『定住意向（計）』でみると、各地区間で大きな差はみられない。

【職業別】

「ずっと住んでいたい」は自営している（53.4%）と無職（50.7%）で5割を超え、『定住意向（計）』でも自営している（78.6%）と無職（78.2%）では8割近くを占めて多くなっている。一方、学生では「ずっと住んでいたい」（4.3%）はわずかで、『転出意向（計）』（36.2%）が3割半ばを占めて多くなっている。

図1-3-3 定住意識 - 属性別



属性分析（図1 - 3 - 4）

【居住年数別】

「ずっと住んでいたい」は生まれてからずっと（55.1%）で5割半ばを占め、『定住意向（計）』は20年以上の居住者で7割半ばを超えて多くなっている。一方、『転出意向（計）』は5～10年未満（23.6%）で2割を超えている。

【住居形態別】

「ずっと住んでいたい」は三世帯世帯（45.6%）と夫婦だけ（43.4%）で4割半ばを占めているが、『定住意向（計）』で見ると大きな差はみられない。

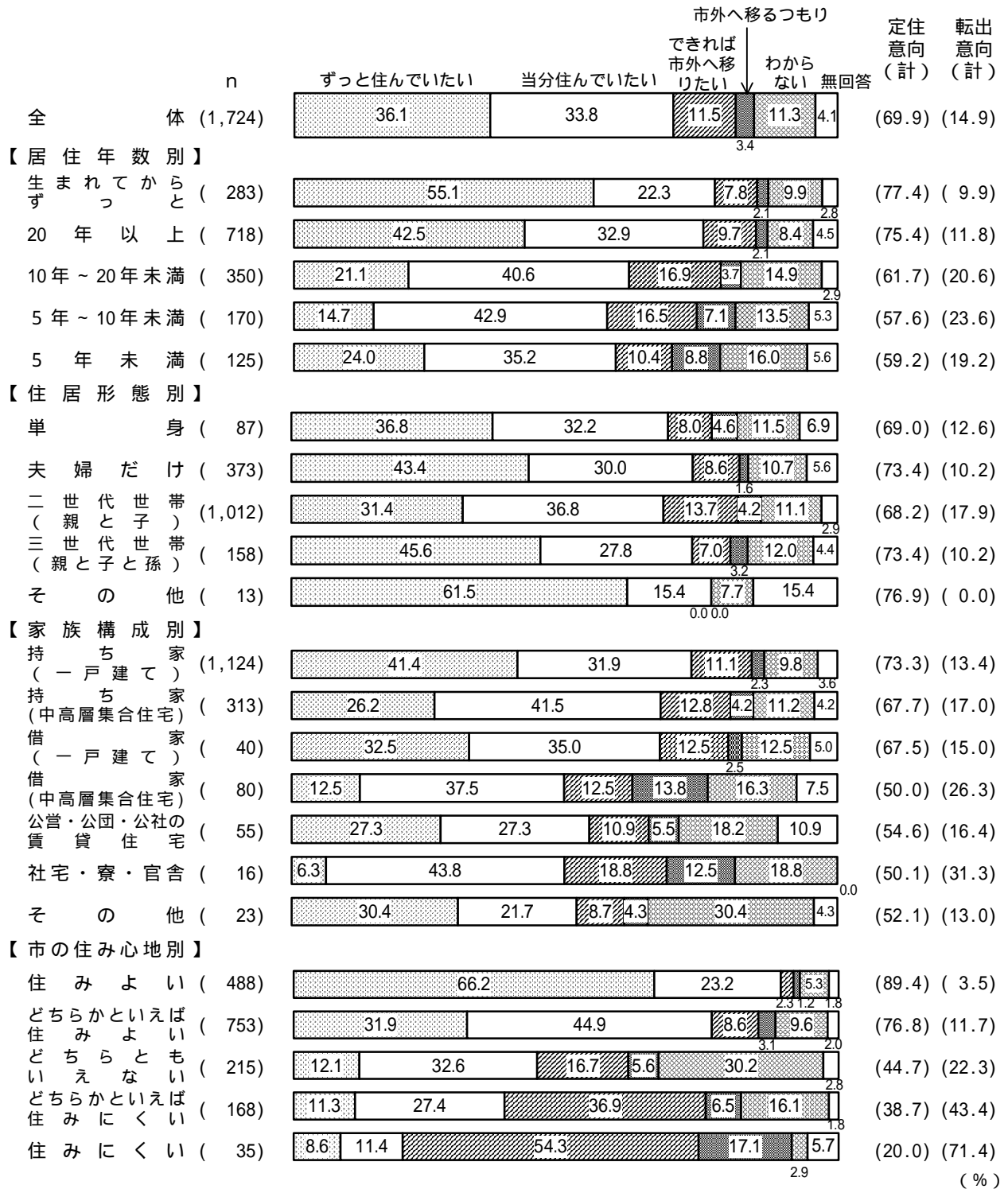
【家族構成別】

『転出意向（計）』は社宅・寮・官舎（31.3%）で3割を超えて多く、借家（中高層集合住宅）（26.3%）でも2割半ばを占めている。

【市の住み心地別】

「ずっと住んでいたい」、『定住意向（計）』ともに、住みよいと感じている人ほど割合が高くなっており、特に、『定住意向（計）』は住みよい（89.4%）でほぼ9割を占めている。

図1 - 3 - 4 定住意識 - 属性別



(1) 住み続けたい理由

「自分の家(土地)だから」が6割を超え、「住みなれているから」が4割半ばを占める

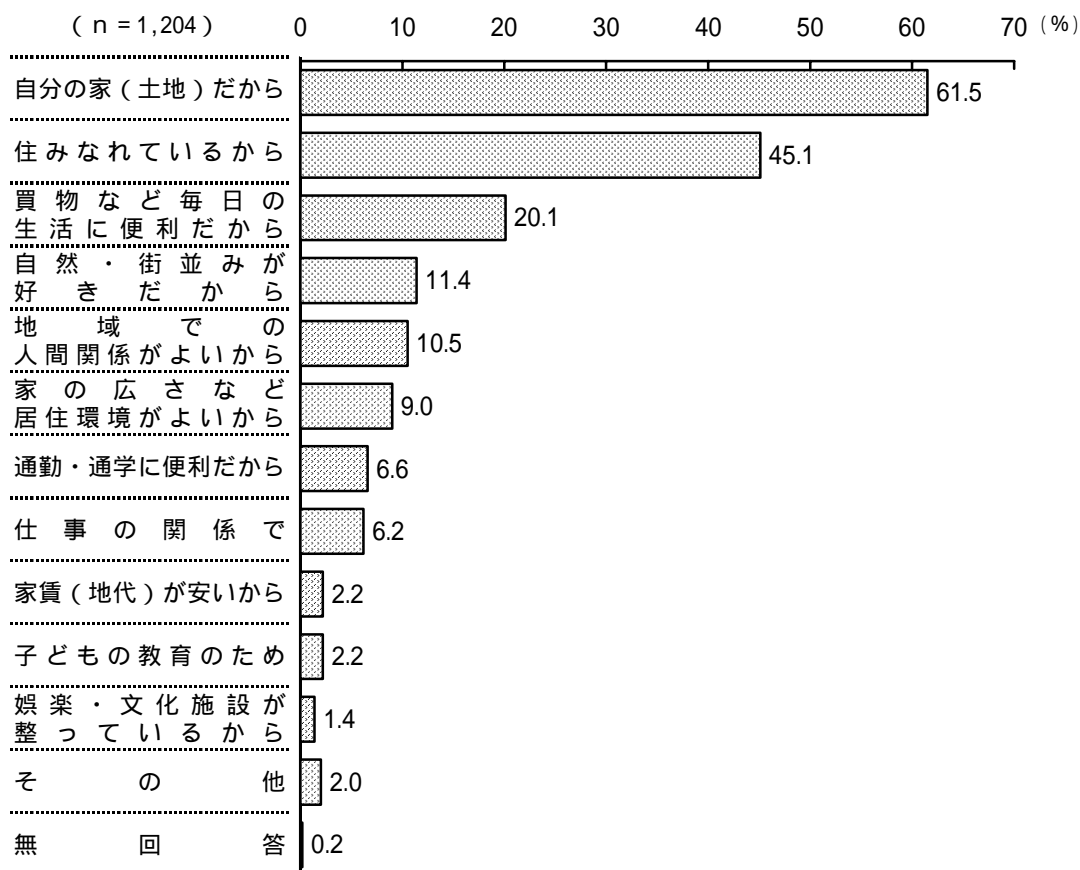
(問3で「1. ずっと住んでいたい」「2. 当分住んでいたい」と答えた方に)

問3 - 1 住み続ける理由を2つまで選んでください。(n = 1,204)

| | | | |
|--------------------|-------|---------------------|------|
| 1. 住みなれているから | 45.1% | 7. 買物など毎日の生活に便利だから | 20.1 |
| 2. 自分の家(土地)だから | 61.5 | 8. 地域での人間関係がよいから | 10.5 |
| 3. 家の広さなど居住環境がよいから | 9.0 | 9. 自然・街並みが好きだから | 11.4 |
| 4. 家賃(地代)が安いから | 2.2 | 10. 娯楽・文化施設が整っているから | 1.4 |
| 5. 通勤・通学に便利だから | 6.6 | 11. 子どもの教育のため | 2.2 |
| 6. 仕事の関係で | 6.2 | 12. その他 | 2.0 |
| | | (無回答) | 0.2 |

人間市に「ずっと住んでいたい」または「当分住んでいたい」と答えた人(1,204人)にその理由を聞いたところ、「自分の家(土地)だから」(61.5%)が6割を超えて最も多く、次いで「住みなれているから」(45.1%)、「買物など毎日の生活に便利だから」(20.1%)、「自然・街並みが好きだから」(11.4%)、「地域での人間関係がよいから」(10.5%)などの順となっている。(図1-3-5)

図1-3-5 住み続けたい理由

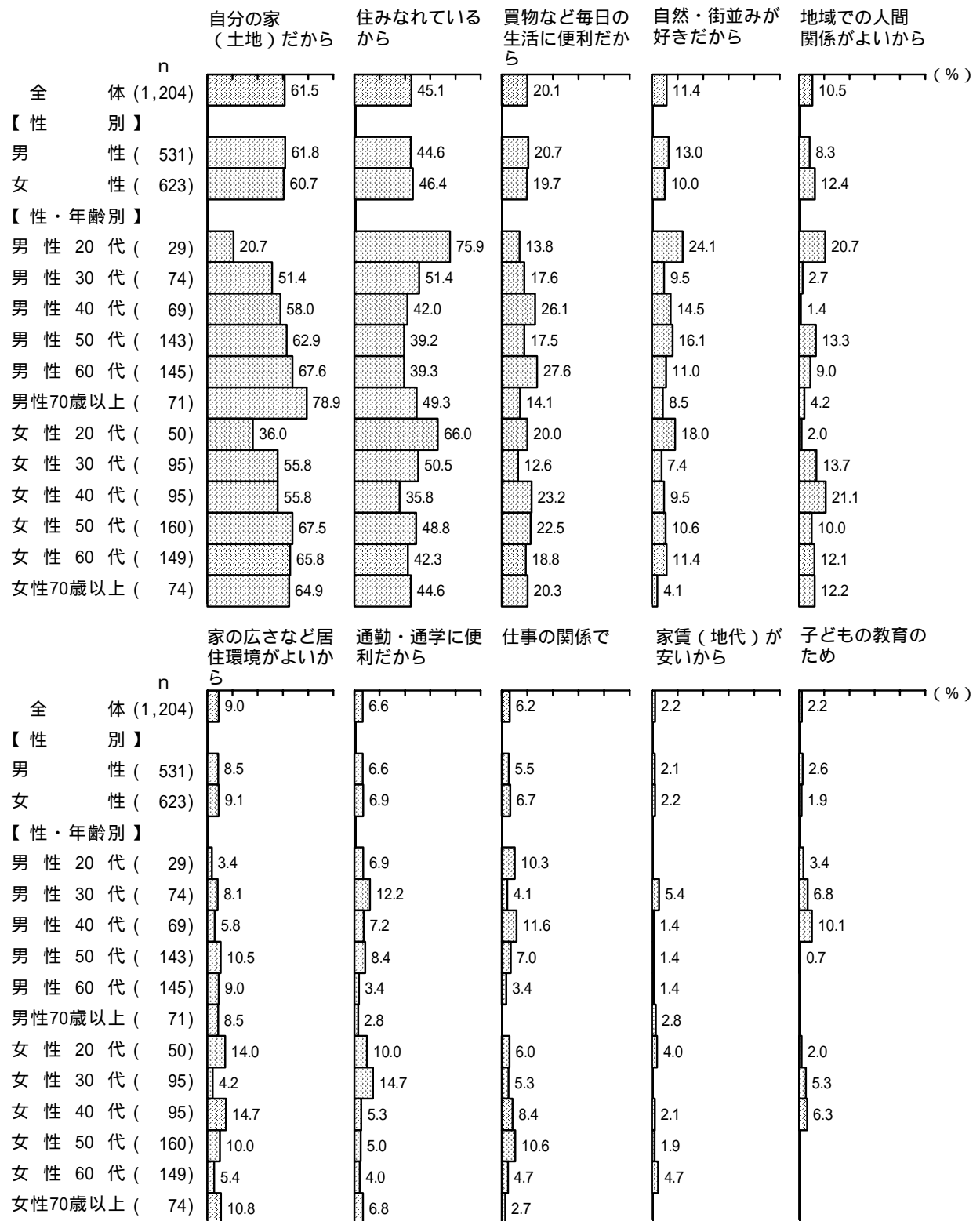


属性分析（上位10項目）（図1-3-6）

【性別】「地域での人間関係がよいから」は女性の方が4ポイント高くなっている。

【性・年齢別】「自分の家（土地）だから」は高い年代ほど割合が高い傾向にあり、特に男性70歳代（78.9%）で8割近くに達している。「住みなれているから」は男女とも20代で7割前後を占めている。

図1-3-6 住み続けたい理由 - 属性別（上位10項目）



(2) 市外へ移りたい理由

「通勤・通学に不便だから」が4割を超えて最も多い

(問3で「3.できれば市外へ移りたい」「4.市外へ移るつもり」と答えた方に)

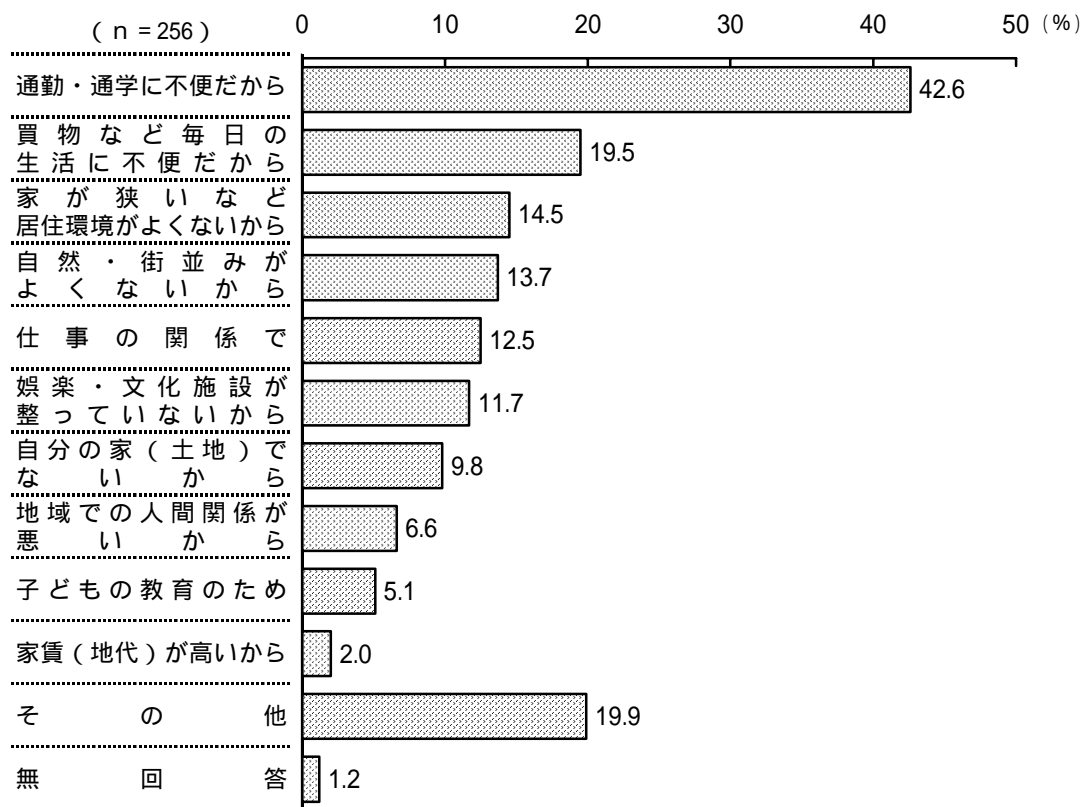
問3 - 2 市外へ移りたいと思われる理由を2つまで選んでください。(n = 256)

| | | | |
|--------------------------|------|-------------------------|------|
| 1. 自分の家(土地)でないから | 9.8% | 7. 地域での人間関係が悪いから | 6.6 |
| 2. 家が狭いなど居住環境が よくないから | 14.5 | 8. 自然・街並みがよくないから | 13.7 |
| 3. 家賃(地代)が高いから | 2.0 | 9. 娯楽・文化施設が整って いないから | 11.7 |
| 4. 通勤・通学に不便だから | 42.6 | 10. 子どもの教育のため | 5.1 |
| 5. 仕事の関係で | 12.5 | 11. その他 | 19.9 |
| 6. 買物など毎日の生活に不便だから | 19.5 | (無回答) | 1.2 |

人間市から「できれば市外へ移りたい」または「市外に移るつもり」と答えた人(256人)にその理由を聞いたところ、「通勤・通学に不便だから」(42.6%)が4割を超えて最も多く、次いで「買物など毎日の生活に不便だから」(19.5%)、「家が狭いなど居住環境がよくないから」(14.5%)、「自然・街並みがよくないから」(13.7%)、「仕事の関係で」(12.5%)などの順となっている。

(図1-3-7)

図1-3-7 市外へ移りたい理由

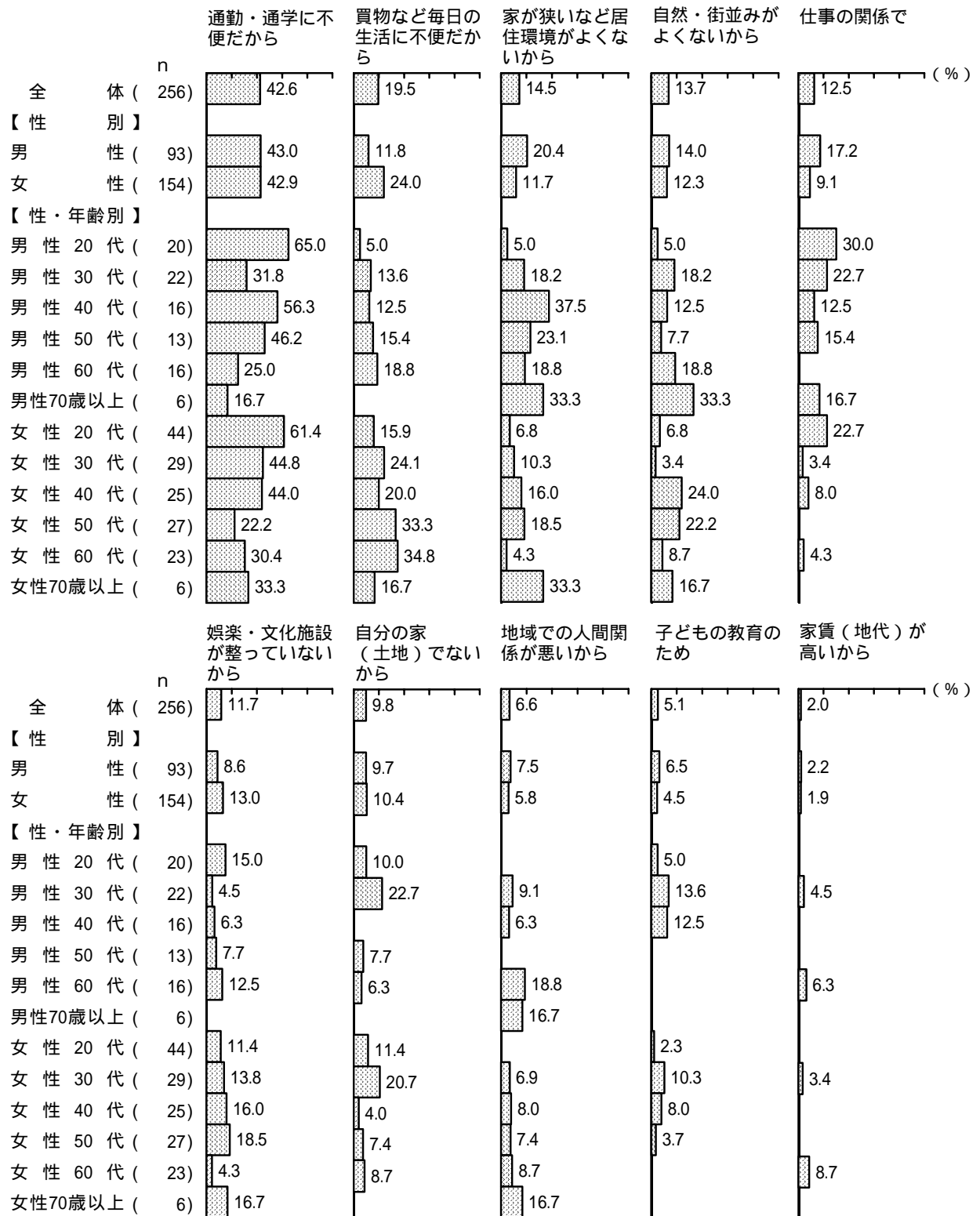


属性分析 (図1 - 3 - 8)

【性別】「買い物など毎日の生活に不便だから」は女性の方が12ポイント高く、「家が狭いなど居住環境がよくないから」は男性の方が9ポイント、「仕事の関係で」は男性の方が8ポイント、それぞれ高くなっている。

【性・年齢別】「通勤・通学に不便だから」は男性20代・40代と女性20代で6割前後を占めている。「買い物など毎日の生活に不便だから」は女性50代・60代で3割を超えている。

図1 - 3 - 8 市外へ移りたい理由 - 属性別



1 - 4 . 将来イメージ

「自然」、「住みよさ」、「緑」、「安全」の4つが3割半ばを超える

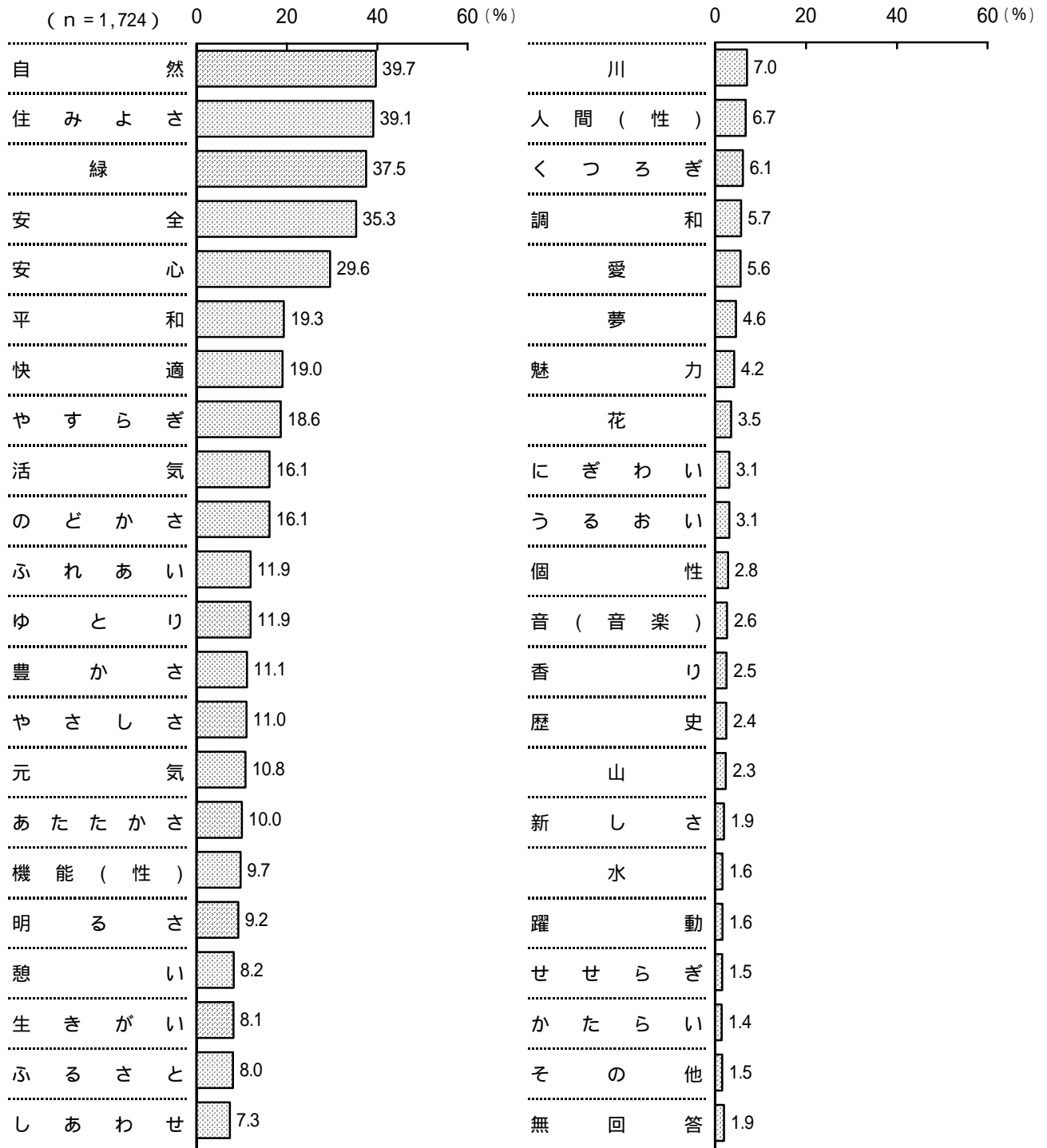
問4 あなたは、入間市が将来こうあってほしいというイメージを言葉で表現するとしたら、どのような言葉があてはまると思いますか。次の中から5つまで選んでください。

(n = 1,724)

| | | | | | | | |
|---------|------|---------------|------|---------------|------|------------|------|
| 1 . 愛 | 5.6% | 12 . 元気 | 10.8 | 23 . 機能 (性) | 9.7 | 34 . やすらぎ | 18.6 |
| 2 . 緑 | 37.5 | 13 . 活気 | 16.1 | 24 . ふれあい | 11.9 | 35 . うるおい | 3.1 |
| 3 . 夢 | 4.6 | 14 . 快適 | 19.0 | 25 . のどかさ | 16.1 | 36 . 生きがい | 8.1 |
| 4 . 花 | 3.5 | 15 . 安心 | 29.6 | 26 . くつろぎ | 6.1 | 37 . あたたかさ | 10.0 |
| 5 . 川 | 7.0 | 16 . ふるさと | 8.0 | 27 . しあわせ | 7.3 | 38 . 住みよさ | 39.1 |
| 6 . 水 | 1.6 | 17 . 歴史 | 2.4 | 28 . かたらい | 1.4 | 39 . 新しさ | 1.9 |
| 7 . 山 | 2.3 | 18 . 調和 | 5.7 | 29 . 憩い | 8.2 | 40 . せせらぎ | 1.5 |
| 8 . 自然 | 39.7 | 19 . 人間 (性) | 6.7 | 30 . にぎわい | 3.1 | 41 . 平和 | 19.3 |
| 9 . 魅力 | 4.2 | 20 . 豊かさ | 11.1 | 31 . 明るさ | 9.2 | 42 . 安全 | 35.3 |
| 10 . 個性 | 2.8 | 21 . 躍動 | 1.6 | 32 . やさしさ | 11.0 | 43 . その他 | 1.5 |
| 11 . 香り | 2.5 | 22 . 音 (音楽) | 2.6 | 33 . ゆとり | 11.9 | (無回答) | 1.9 |

入間市が将来こうあってほしいというイメージを表現する言葉について聞いたところ、「自然」(39.7%)が4割で最も多く、次いで「住みよさ」(39.1%)、「緑」(37.5%)、「安全」(35.3%)、「安心」(29.6%)などの順となっている。(図1 - 4 - 1)

図1 - 4 - 1 将来イメージ

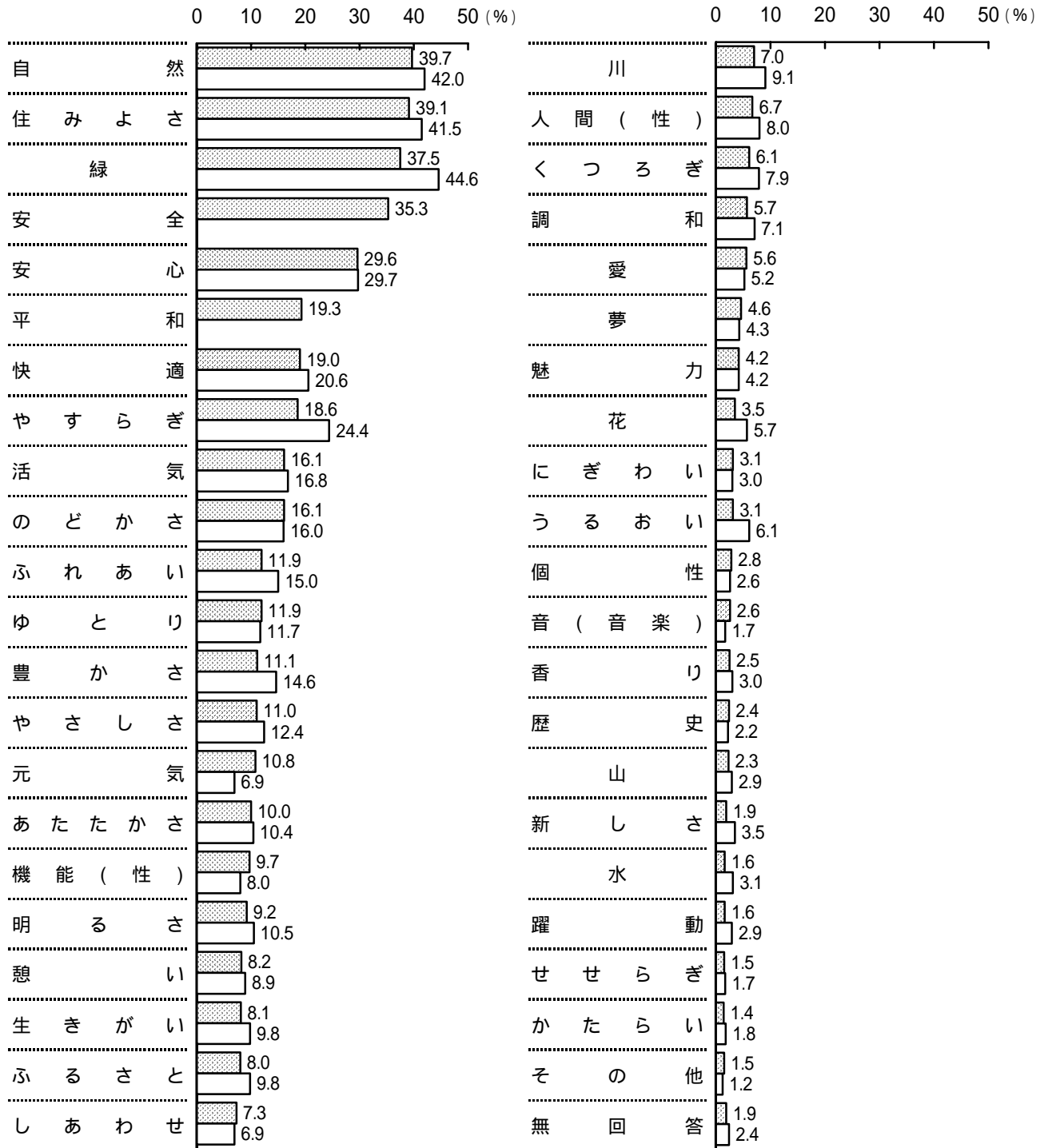


【過年度比較】

前回調査との比較は、今回調査で「安全」、「平和」の選択肢が追加されたため参考にとどまるが、前回2位だった「自然」が今回1位に、前回3位だった「住みよさ」が今回2位となり、前回1位だった「緑」は今回3位となっている。また、今回調査で新設された「安全」は4位、「平和」は6位となっている。(図1-4-2)

図1-4-2 将来イメージ - 過年度比較

■ 平成17年 (n=1,724)
□ 平成13年 (n=1,818)



1 - 5 . 将来の都市像

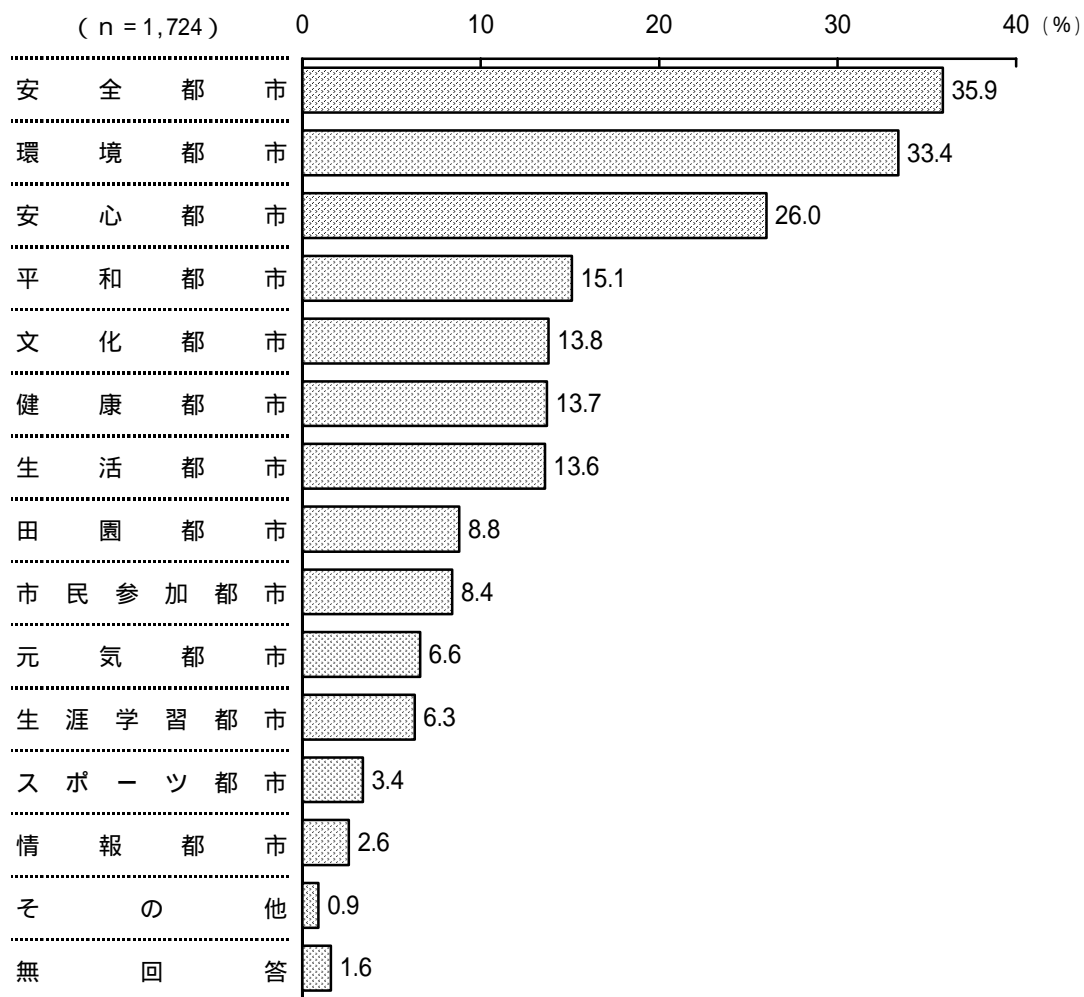
「安全都市」が3割半ば、「環境都市」も3割を超える

問5 あなたが入間市に望む、将来の都市像はどのようなものですか。次の中から2つまで選んでください。 (n = 1,724)

| | | | | | |
|----------|-------|-------------|------|-----------|------|
| 1 . 文化都市 | 13.8% | 6 . スポーツ都市 | 3.4 | 11 . 健康都市 | 13.7 |
| 2 . 田園都市 | 8.8 | 7 . 元気都市 | 6.6 | 12 . 安心都市 | 26.0 |
| 3 . 生活都市 | 13.6 | 8 . 平和都市 | 15.1 | 13 . 安全都市 | 35.9 |
| 4 . 情報都市 | 2.6 | 9 . 市民参加都市 | 8.4 | 14 . その他 | 0.9 |
| 5 . 環境都市 | 33.4 | 10 . 生涯学習都市 | 6.3 | (無回答) | 1.6 |

入間市に望む将来の都市像を聞いたところ、「安全都市」(35.9%)が3割半ばで最も多く、次いで「環境都市」(33.4%)、「安心都市」(26.0%)、「平和都市」(15.1%)、「文化都市」(13.8%)、「健康都市」(13.7%)、「生活都市」(13.6%)などの順となっている。(図1-5-1)

図1-5-1 将来の都市像

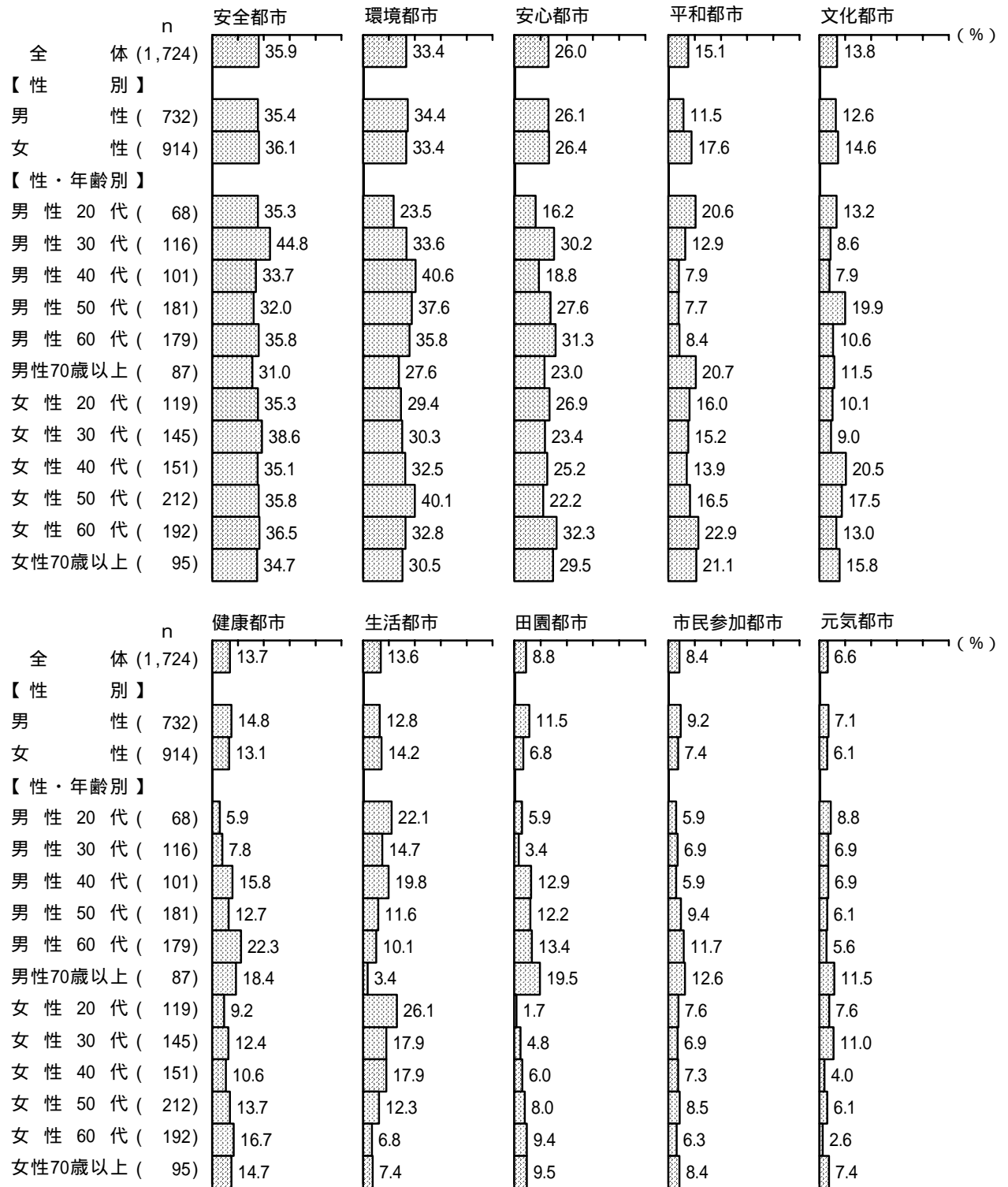


属性分析（上位10項目）（図1-5-2）

【性別】「平和都市」は女性の方が6ポイント高く、「田園都市」は男性の方が5ポイント高くなっている。

【性・年齢別】「安全都市」は男性30代（44.8%）で4割半ばを占めて多く、「環境都市」は男性40代（40.6%）と女性50代（40.1%）で4割を占めている。また、「生活都市」はおおむね年代が低くなるにつれて割合が高くなる傾向にある。

図1-5-2 将来の都市像 - 属性別（上位10項目）



1 - 6 . 入間市の魅力

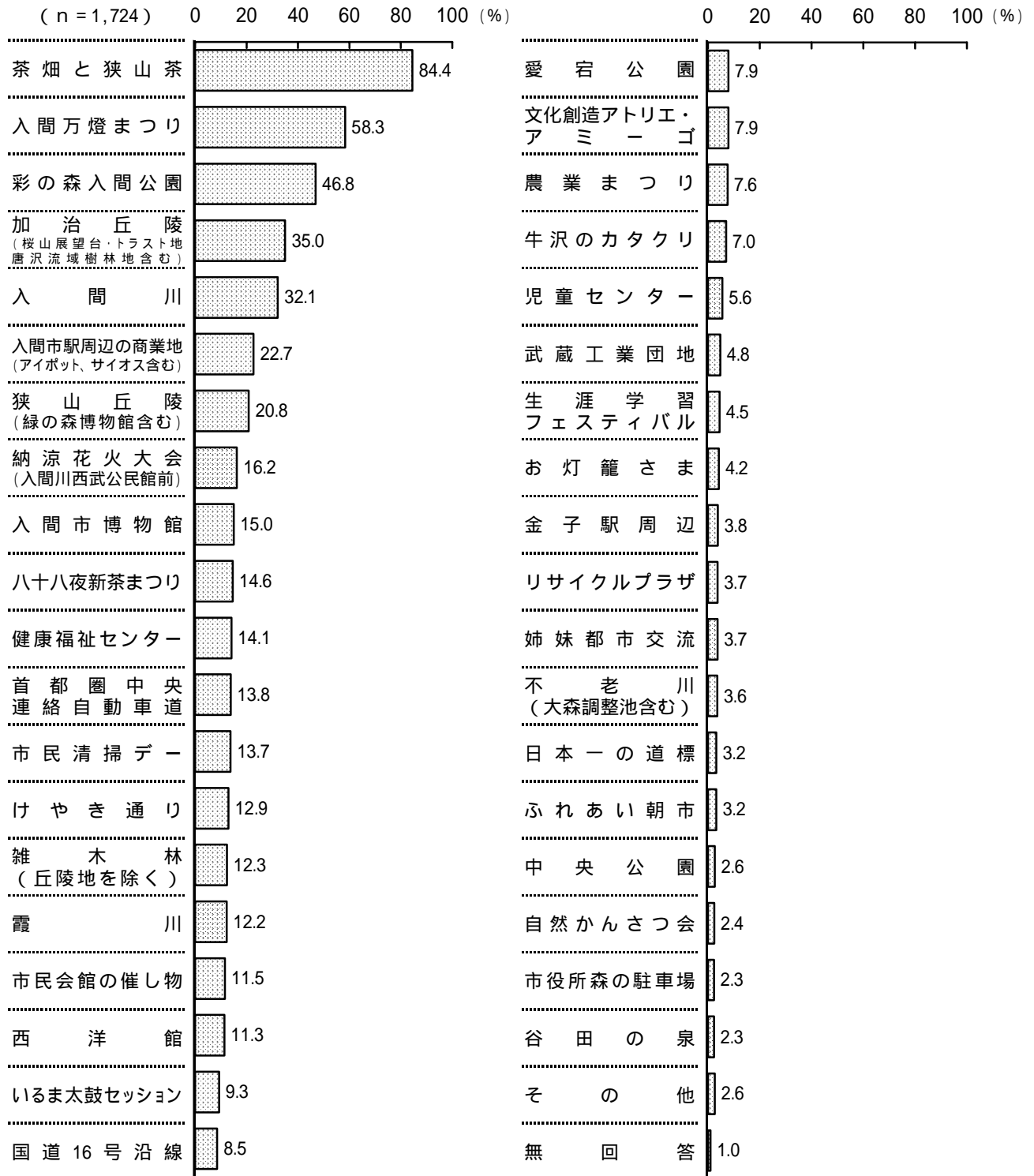
「茶畑と狭山茶」が8割半ば、「入間万燈まつり」が6割近く

問6 あなたが入間市の環境や施設、景観、行事等の中で入間らしい魅力や個性を感じるものは何ですか。次の中から7つまで選んでください。(n=1,724)

| | | | |
|-----------------------------------|-------|----------------------------------|------|
| 1. 茶畑と狭山茶 | 84.4% | 21. 市民会館の催し物 | 11.5 |
| 2. 加治丘陵 (桜山展望台・トラスト地唐沢流域樹林地含む) | 35.0 | 22. 児童センター | 5.6 |
| 3. 狭山丘陵(緑の森博物館含む) | 20.8 | 23. 首都圏中央連絡自動車道 | 13.8 |
| 4. 入間川 | 32.1 | 24. 入間市駅周辺の商業地 (アイポット、サイオス含む) | 22.7 |
| 5. 霞川 | 12.2 | 25. 金子駅周辺 | 3.8 |
| 6. 不老川(大森調整池含む) | 3.6 | 26. 西洋館 | 11.3 |
| 7. 雑木林(丘陵地を除く) | 12.3 | 27. けやき通り | 12.9 |
| 8. 入間市博物館 | 15.0 | 28. 市役所森の駐車場 | 2.3 |
| 9. 入間万燈まつり | 58.3 | 29. 自然かんさつ会 | 2.4 |
| 10. 健康福祉センター | 14.1 | 30. 八十八夜新茶まつり | 14.6 |
| 11. 文化創造アトリエ・アミ - ゴ | 7.9 | 31. お灯笼さま | 4.2 |
| 12. いるま太鼓セッション | 9.3 | 32. 牛沢のカタクリ | 7.0 |
| 13. 市民清掃デ - | 13.7 | 33. 日本一の道標 | 3.2 |
| 14. 姉妹都市交流 | 3.7 | 34. 愛宕(あたご)公園 | 7.9 |
| 15. 農業まつり | 7.6 | 35. 中央公園 | 2.6 |
| 16. ふれあい朝市 | 3.2 | 36. 谷田(やた)の泉 | 2.3 |
| 17. 納涼花火大会(入間川西武公民館前) | 16.2 | 37. 武蔵工業団地 | 4.8 |
| 18. 国道16号沿線 | 8.5 | 38. 彩の森入間公園 | 46.8 |
| 19. リサイクルプラザ | 3.7 | 39. その他 | 2.6 |
| 20. 生涯学習フェスティバル | 4.5 | (無回答) | 1.0 |

入間市の環境や施設、景観、行事等の中で、入間らしい魅力や個性を感じるものを聞いたところ、「茶畑と狭山茶」(84.4%)が8割半ばで特に多く、次いで「入間万燈まつり」(58.3%)、「彩の森入間公園」(46.8%)、「加治丘陵(桜山展望台・トラスト地唐沢流域樹林地含む)」(35.0%)、「入間川」(32.1%)、「入間市駅周辺の商業地(アイポット・サイオス含む)」(22.7%)、狭山丘陵(緑の森博物館含む)」(20.8%)などの順となっている。(図1-6-1)

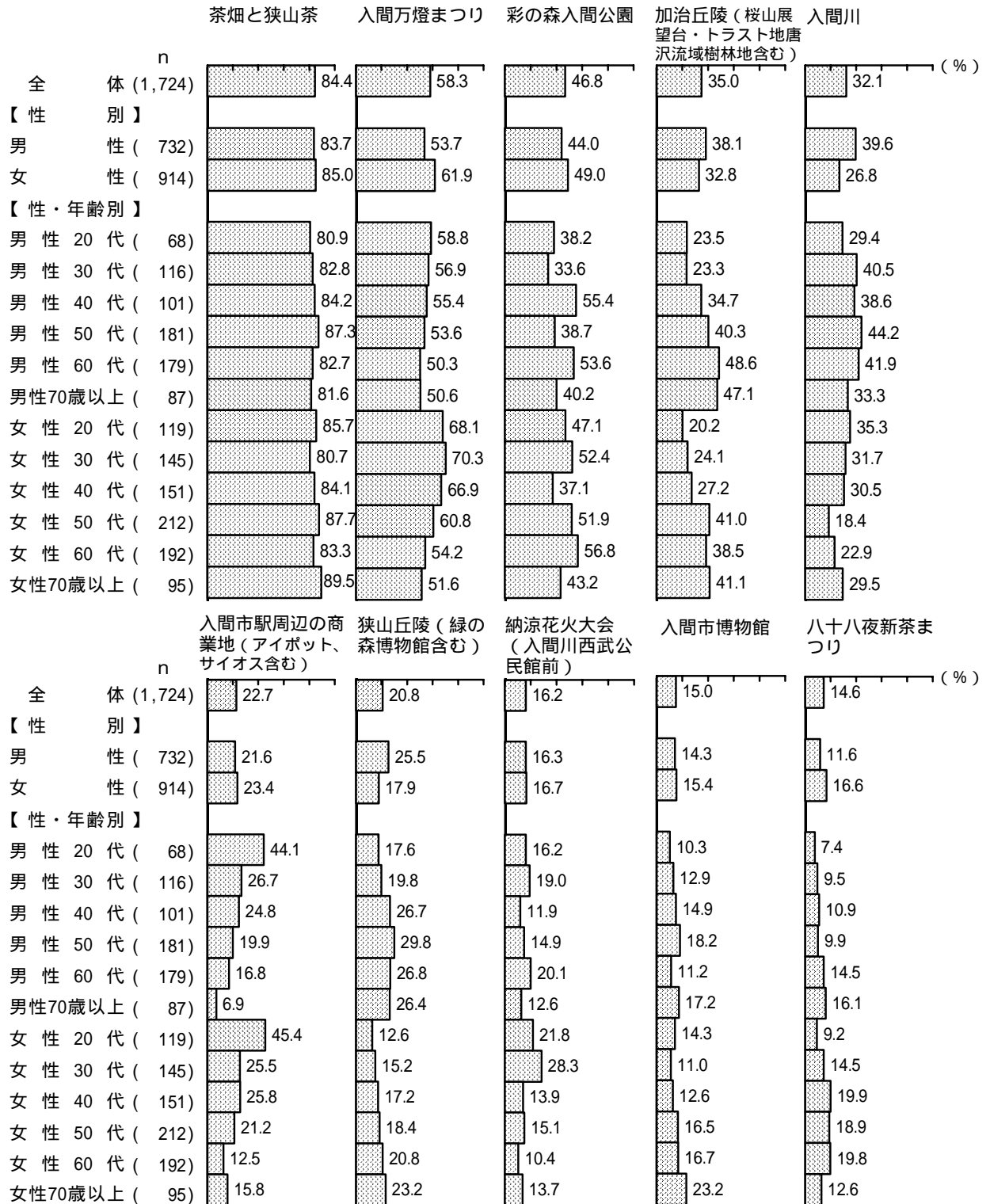
図1-6-1 入間市の魅力



属性分析（上位 10 項目）（図 1 - 6 - 2）

【性・年齢別】「茶畑と狭山茶」はいずれの年代でも 8 割を超えている。「入間万燈まつり」は女性 20 代から 40 代で 7 割前後を占めて多く、「加治丘陵（桜山展望台・トラスト地唐沢流域樹林地含む）」は男性 60 代以上で 5 割近くを占めている。また、「入間市駅周辺の商業地（アイボット、サイオス含む）」は男女とも 20 代で 4 割半ばを占めて多くになっている。

図 1 - 6 - 2 入間市の魅力 - 属性別（上位 10 項目）



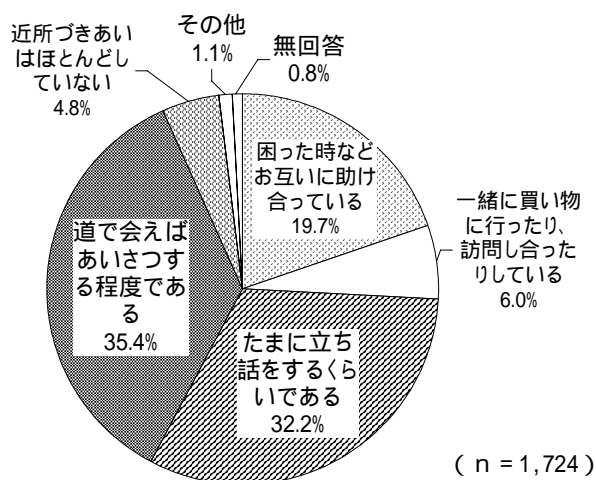
1 - 7 . 近所づきあい

「道で会えばあいさつする程度である」が3割半ば

| | |
|---|---------------|
| 問7 あなたは、ふだんどのような近所づきあいをしていますか。次の中から1つ選んでください。 | (n = 1,724) |
| 1 . 困った時などお互いに助け合っている | 19.7% |
| 2 . 一緒に買い物に行ったり、訪問し合ったりしている | 6.0 |
| 3 . たまに立ち話をするくらいである | 32.2 |
| 4 . 道で会えばあいさつする程度である | 35.4 |
| 5 . 近所づきあいはほとんどしていない | 4.8 |
| 6 . その他 | 1.1 |
| | (無回答) 0.8 |

ふだんの近所づきあいについて聞いたところ、「困ったときなどお互いに助けあっている」(19.7%)は2割で、「たまに立ち話をするくらいである」(32.2%)は3割を超えている。「道で会えばあいさつする程度である」(35.4%)が3割半ばで最も多くなっている。(図1-7-1)

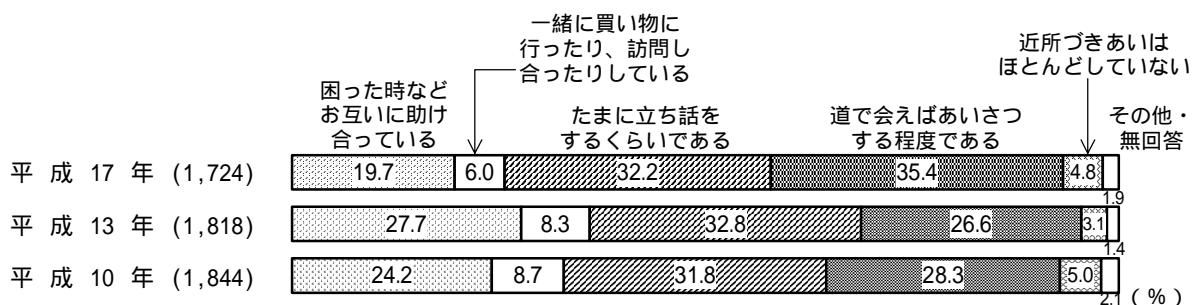
図1-7-1 近所づきあい



【過年度比較】

「困ったときなどお互いに助けあっている」は前回調査から8ポイント減少し、「道で会えばあいさつする程度である」が8.8ポイント増加している。(図1-7-2)

図1-7-2 近所づきあい - 過年度比較



属性分析（図 1 - 7 - 3）

【性別】

「たまに立ち話をするくらいである」は女性の方が7ポイント高く、「道で会えばあいさつする程度である」は男性の方が13ポイント高くなっている。

【性・年齢別】

「困ったときなどお互いに助け合っている」は男性ではおおむね年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、特に男性70歳以上（32.2%）で3割を超えている。女性では30代と50歳以上の年代で2割半ばを占めている。「一緒に買い物に行ったり、訪問し合ったりしている」は女性60代以上の年代で1割半ばを占めて多くなっている。「道で会えばあいさつする程度である」は低い年代ほど割合が高くなっている。

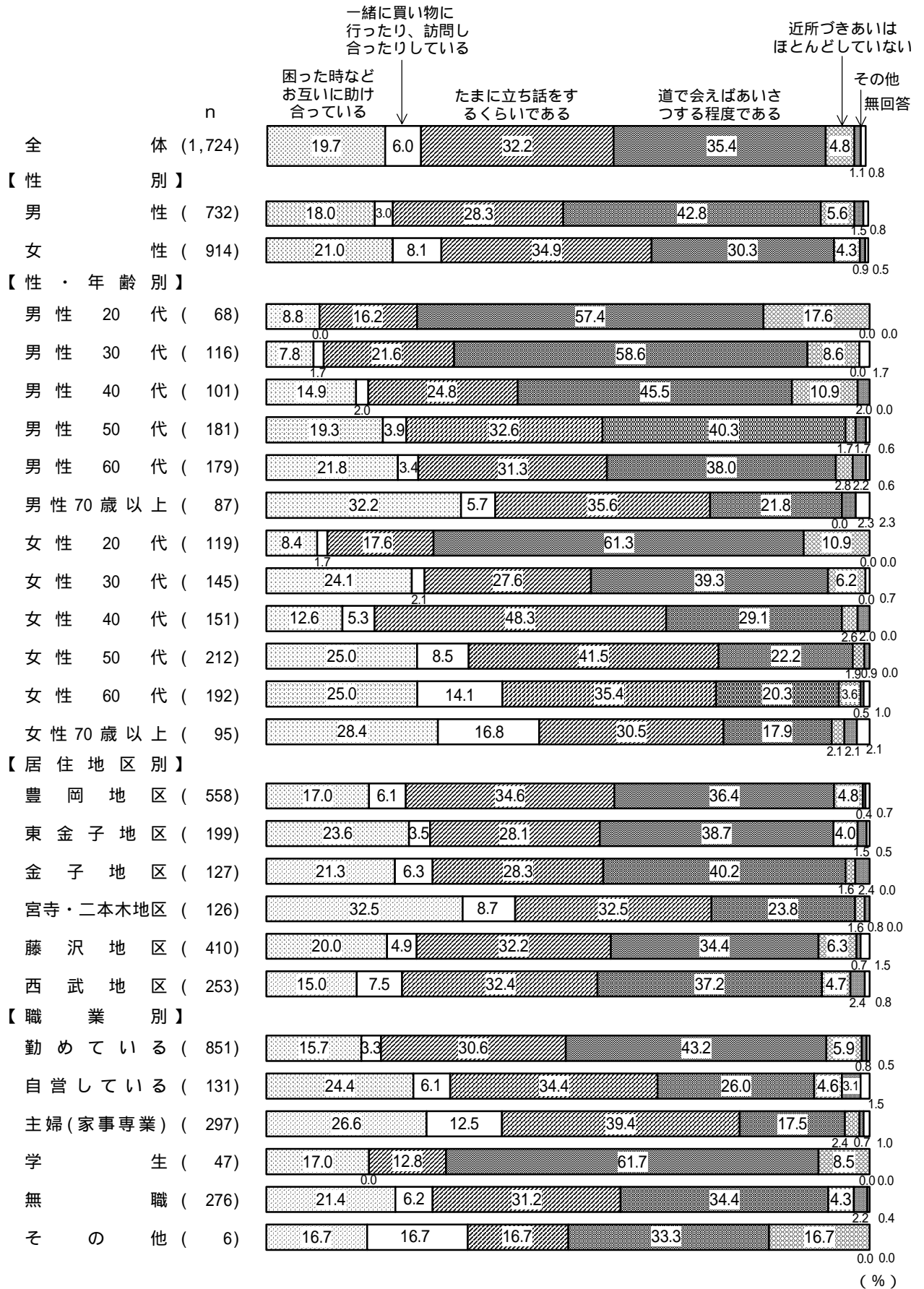
【居住地区別】

「困ったときなどお互いに助けあっている」は宮寺・二本木地区（32.5%）で3割を超え、他の地域より多くなっている。それ以外の地区間では、ほぼ同じ傾向になっている。

【職業別】

「困ったときなどお互いに助けあっている」は主婦（家事専業）（26.6%）と自営している（24.4%）で2割半ばを占めている。

図1-7-3 近所づきあい - 属性別



属性分析（図 1 - 7 - 4）

【居住年数別】

「困ったときなどお互いに助けあっている」は居住年数が長くなるほど割合が高くなっており、生まれてからずっと（25.4%）で2割半ばを占めている。「近所づきあいはほとんどしていない」は10年未満の人で1割前後を占めている。

【家族構成別】

「困ったときなどお互いに助けあっている」は三世帯世帯（29.1%）でほぼ3割を占めて多くなっている。単身の人では、「道で会えばあいさつする程度である」（44.8%）が4割半ばに、「近所づきあいはほとんどしていない」（17.2%）が2割近くに達し、それぞれ多くなっている。

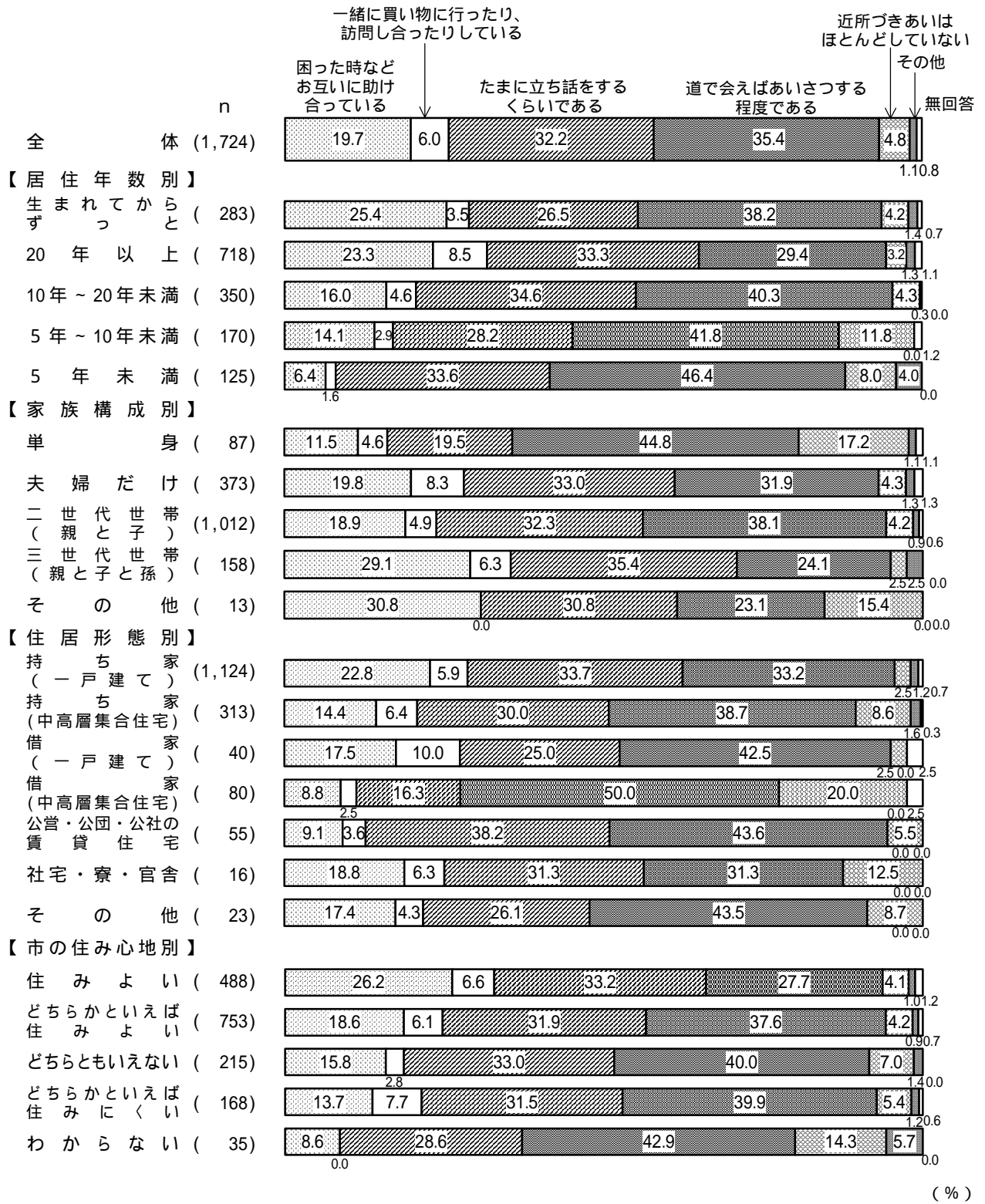
【住居形態別】

「困ったときなどお互いに助けあっている」は借家（中高層集合住宅）（8.8%）と公営・公団・公社の賃貸住宅（9.1%）で、他の住居形態に比べて割合が低くなっている。借家（中高層集合住宅）では、「道で会えばあいさつする程度である」（50.0%）が5割、「近所づきあいはほとんどしていない」（20.0%）が2割に達して多くなっている。

【市の住み心地別】

「困ったときなどお互いに助けあっている」は、住みよいと感じている人ほど割合が高くなっており、特に、住みよい（26.2%）で2割半ばを占めている。

図1-7-4 近所づきあい - 属性別



1 - 8 . 地域活動

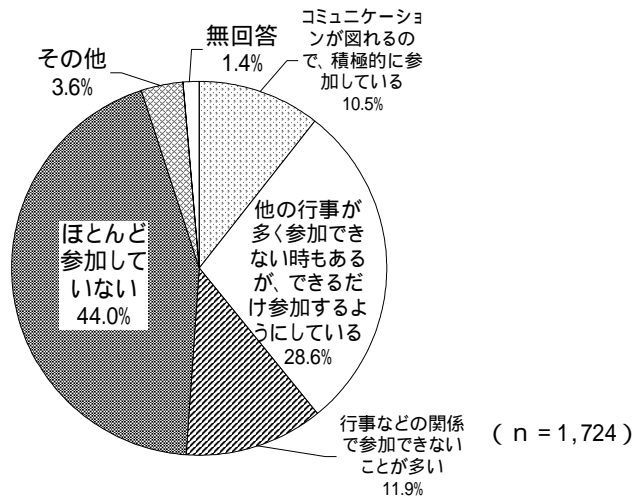
「できるだけ参加するようにしている」を含めると、参加している人はほぼ4割

問8 あなたは、自治会や町内会などの地域活動にどの程度参加をしていますか。次の中から1つを選んでください。 (n = 1,724)

- 1 . コミュニケーションが図れるので、積極的に参加している 10.5%
 - 2 . 他の行事が多く参加できない時もあるが、できるだけ参加するようにしている 28.6
 - 3 . 行事などの関係で参加できないことが多い 11.9
 - 4 . ほとんど参加していない 44.0
 - 5 . その他 3.6
- (無回答) 1.4

自治会や町内会などの地域活動への参加状況を聞いたところ、「コミュニケーションが図れるので、積極的に参加している」(10.5%)がほぼ1割、「他の行事が多く参加できない時もあるが、できるだけ参加するようにしている」(28.6%)が3割近くで、この2つを合わせた『参加している(計)』(39.1%)はほぼ4割である。「行事などの関係で参加できないことが多い」(11.9%)は1割を超え、「ほとんど参加していない」(44.0%)は4割半ばを占めている。(図1-8-1)

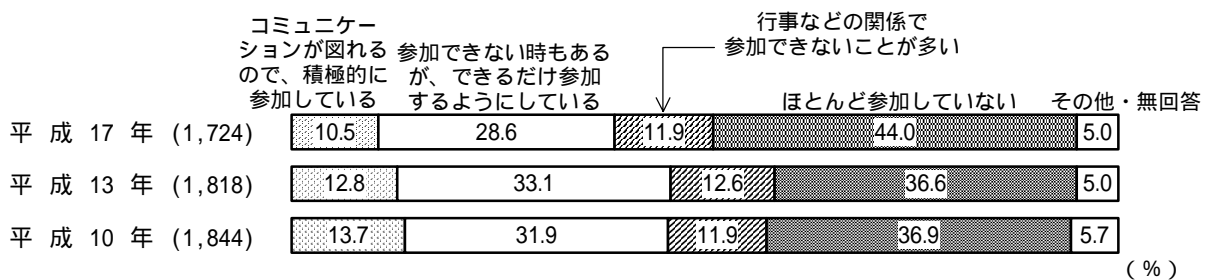
図1-8-1 地域活動



【過年度比較】

『参加している(計)』は前回調査から6.8ポイント減少し、「ほとんど参加していない」が7.4ポイント増加している。(図1-8-2)

図1-8-2 地域活動 - 過年度比較



属性分析（図 1 - 8 - 3）

【性別】

「コミュニケーションが図れるので、積極的に参加している」は男性の方が4ポイント高くなっているが、『参加している（計）』で見ると、男女とも同じ傾向になっている。

【性・年齢別】

「コミュニケーションが図れるので、積極的に参加している」と『参加している（計）』は男性では高い年代ほど割合が高くなっており、特に男性70歳以上では「コミュニケーションが図れるので、積極的に参加している」（25.3%）が2割半ば、『参加している（計）』（57.5%）は6割近くに達して多くなっている。女性では、40代以上の年代で4割から5割を占めている。「ほとんど参加していない」は男女とも20代で8割前後を占めて多くなっている。

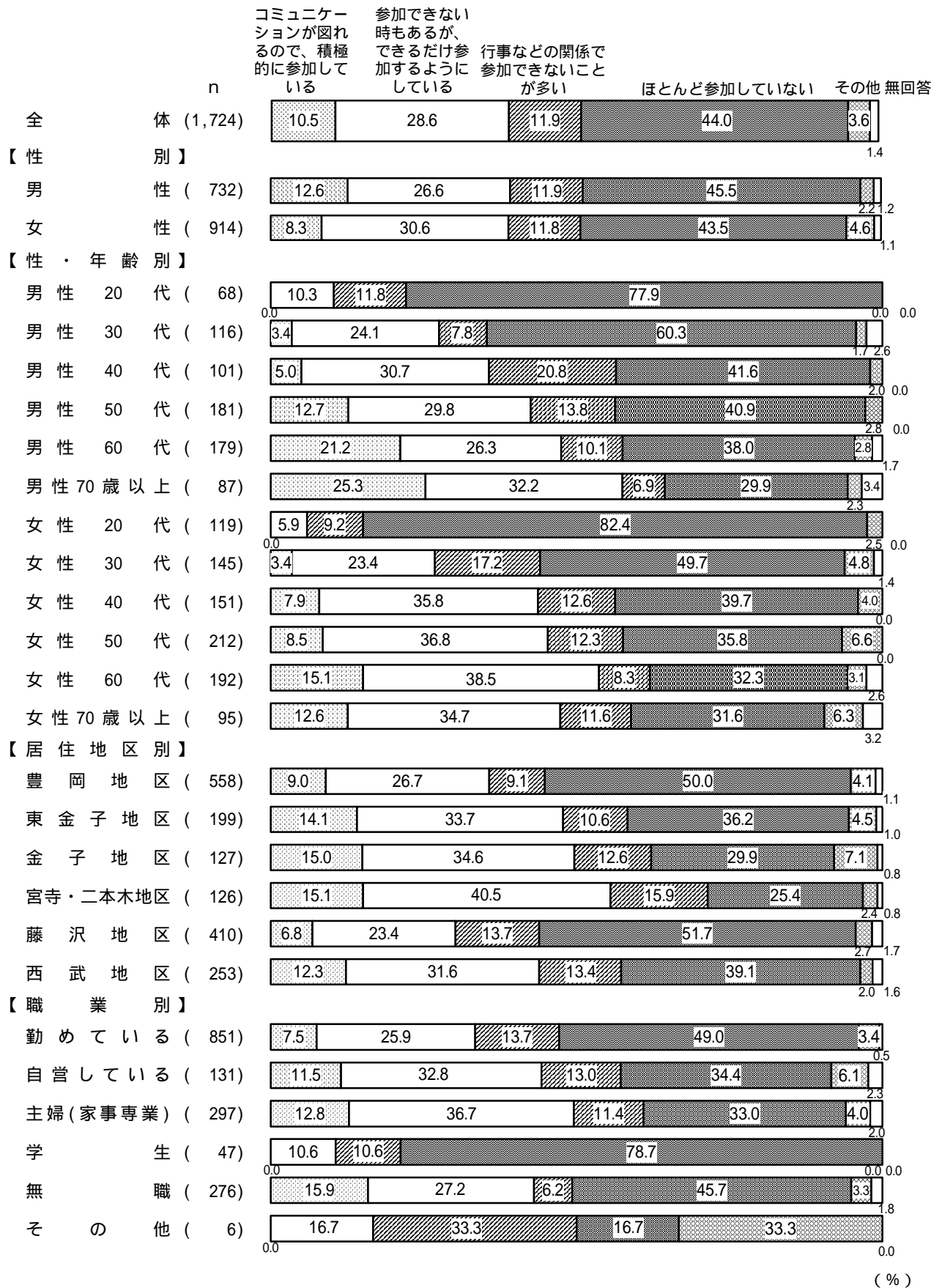
【居住地区別】

『参加している（計）』は宮寺・二本木地区（54.6%）、金子地区（49.6%）、東金子地区（47.8%）で5割前後を占めて多くなっている。「ほとんど参加していない」は藤沢地区（51.7%）と豊岡地区（50.0%）で5割前後を占めて多くなっている。

【職業別】

『参加している（計）』は主婦（家事専業）（49.5%）でほぼ5割を占めている。「ほとんど参加していない」は学生（78.7%）と勤めている（49.0%）で多くなっている。

図 1 - 8 - 3 地域活動 - 属性別



属性分析（図 1 - 8 - 4）

【居住年数別】

『参加している（計）』は 20 年以上（44.4%）で 4 割半ばを占めて多くなっている。「ほとんど参加していない」は 10 年未満の人で 5 割半ばを占めて多くなっている。

【家族構成別】

『参加している（計）』は三世帯世帯（47.5%）と夫婦だけ（47.2%）で 5 割近くを占めて多くなっている。「ほとんど参加していない」は単身（70.1%）で 7 割を占めて多くなっている。

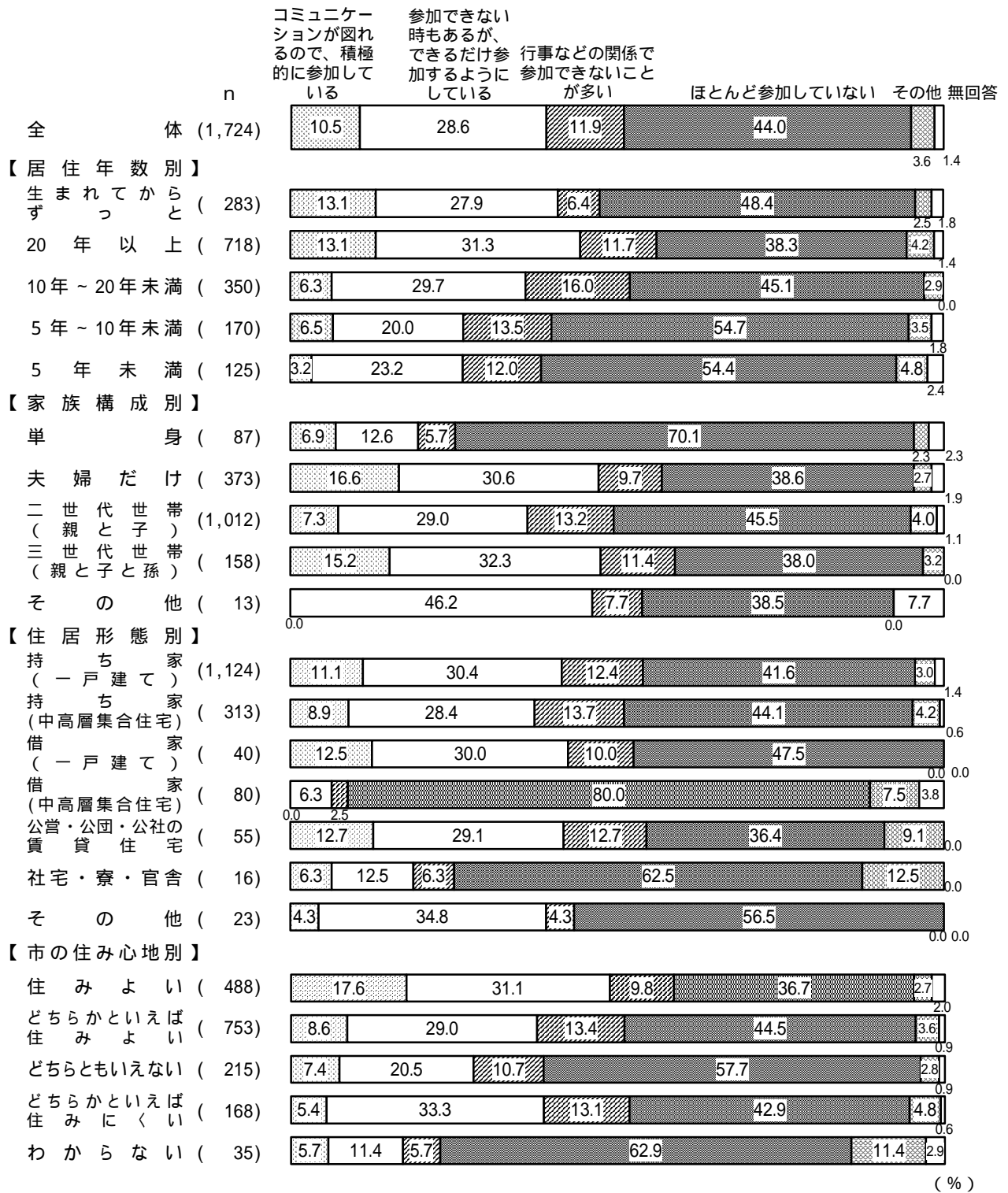
【住居形態別】

「ほとんど参加していない」は借家（中高層集合住宅）（80.0%）と社宅・寮・官舎（62.5%）で多くなっているが、それ以外の住居形態間では、ほぼ同じ傾向になっている。

【市の住み心地別】

『参加している（計）』は、住みよい（48.7%）で 5 割近くを占めて多くなっている。

図1-8-4 地域活動 - 属性別



(%)